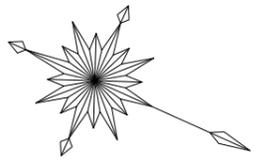


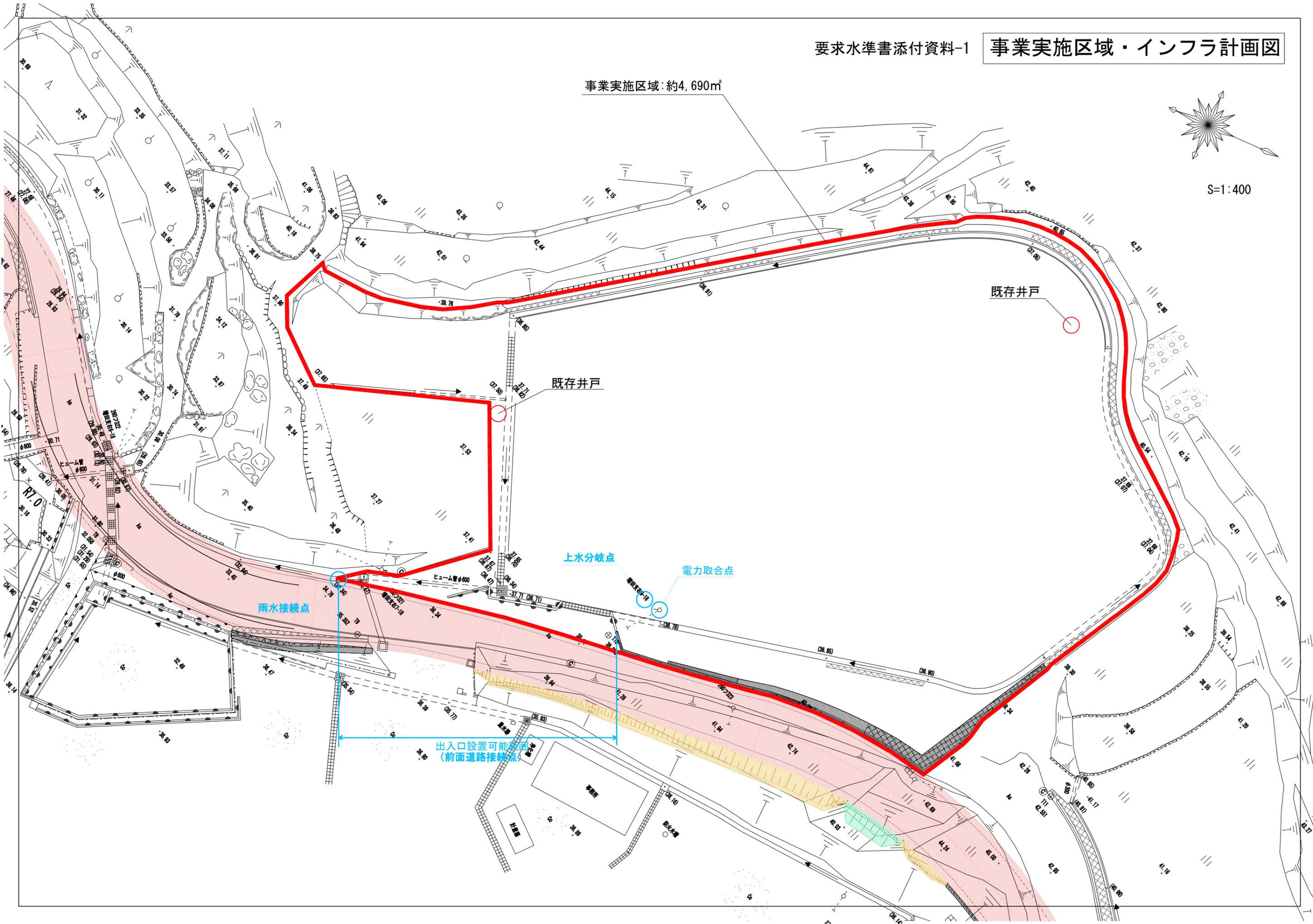
《要求水準書 添付資料リスト》

資料番号	資料名
要求水準書添付資料-1	事業実施区域・インフラ計画図
要求水準書添付資料-2	撤去範囲図
要求水準書添付資料-3	地質調査結果
要求水準書添付資料-4	ごみ排出・処理量実績及び計画ごみ処理量（参考）
要求水準書添付資料-5	ごみ質分析結果（参考）
要求水準書添付資料-6	搬入車両台数実績
要求水準書添付資料-7	ごみ処理手数料の区分
要求水準書添付資料-8	井水水質分析結果
要求水準書添付資料-9	搬入道路計画図（暫定・参考図）

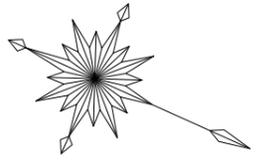
事業実施区域: 約4,690㎡



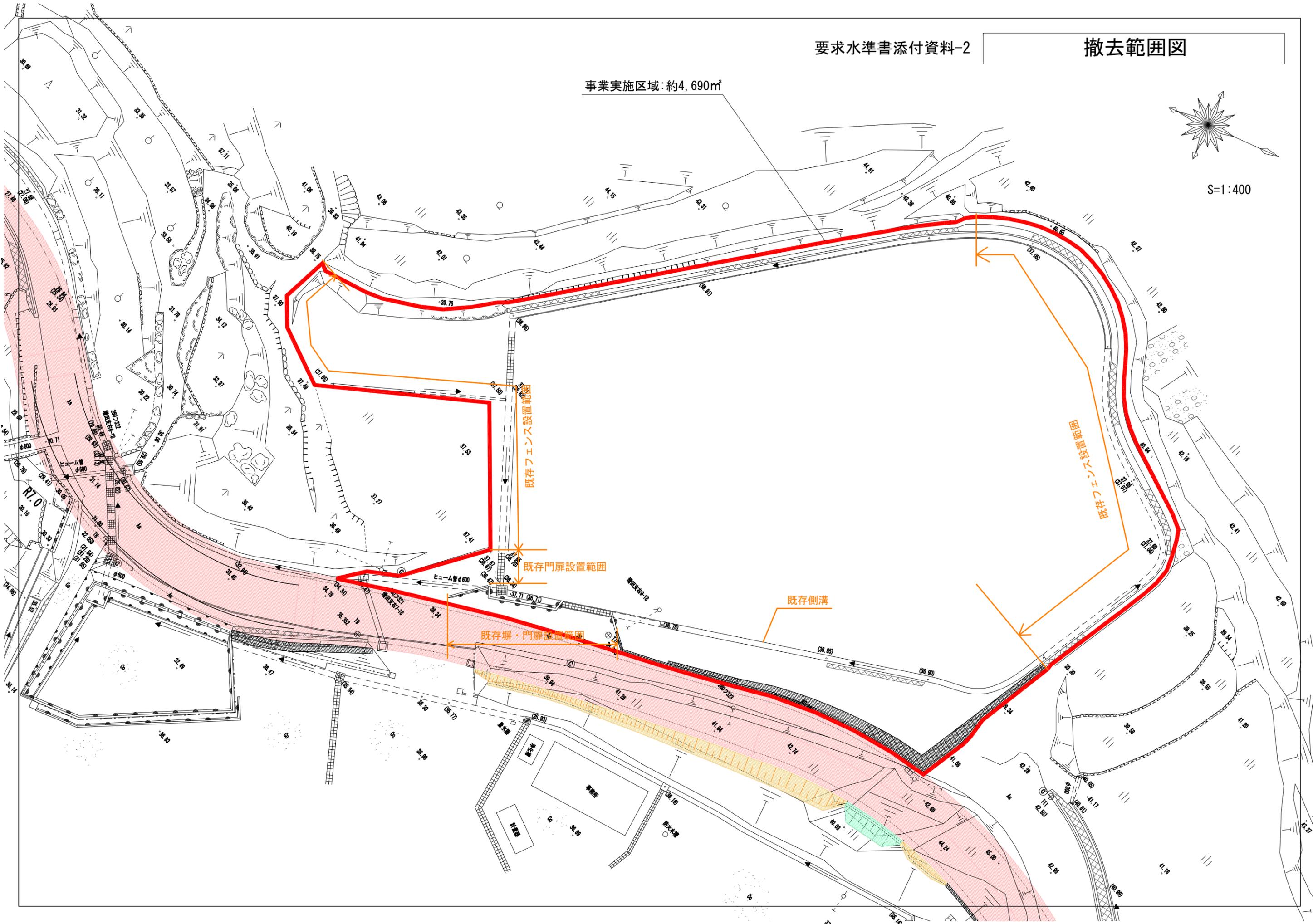
S=1:400



事業実施区域: 約4,690㎡



S=1:400



昭和57年度

ごみ処理施設建設地地質調査工事

報 告 書

昭和57年6月

発 注 者

福 江 市 役 所

目 次

1. 緒 言	1
1-1 調査の目的	1
1-2 調査の内容	1
2. 調査地の概要	2
2-1 位置及び地形	2
2-2 地質概要	2
3. 調査の方法	2
4. 調査結果	3
4-1 調査ボーリング結果	3
4-2 標準貫入試験結果	3
4-3 孔内水位	4
4-4 土質試験結果	5
5. 支持層の判定	6
6. 結 言	7

附 図

1. 位 置 図
2. 平 面 図
3. 地 質 断 面 図
4. ボーリング柱状図
5. 打撃数 - 累積貫入盤関係グラフ

附 表

1. 土質試験データ表

写 真

1. コア - 写真
2. 工事写真
3. 土質試験写真

長崎県福江市におけるごみ処理施設建設地地質調査結果について；

は し が き

昭和57年5月1日より昭和57年6月5日の期間において標題の地質調査を行った。
本報告書はこれをまとめたものである。

1. 緒 言

1-1 調査の目的

長崎県福江市に計画されているごみ処理施設建設地点の「地質状況」及び「その強さ」を知るため「調査ボーリング」、「標準貫入試験」を実施し、そのサンプル資料を用い、「土質試験」を行い、本工事の為の基礎資料を提供する事を目的とする。

1-2 調査の内容

(1) 調 査 名

昭和57年度ごみ処理施設建設地地質調査工事

(2) 調 査 場 所

長崎県福江市

(3) 調 査 の 期 間

昭和57年5月1日より

昭和57年6月5日まで

(4) 発 注 者

福江市役所

(5) 受 注 者

(6) 調 査 の 内 容

調査ボーリング	4孔	29.0m
標準貫入試験	4孔	19回
単位体積重量試験		12個
土質試験 比重試験		12個
粒 度 試 験		5個

(7) 調査の内訳

孔番	標高 (m)	掘進長 (m)	孔内水位 (m)	土質試験 (回)		標準貫入試験 (回)
				単位体積重量 比 重	粒 度	
№1	41.95	9.0	0	5	2	9
№2	40.56	7.0	2.1	3	1	4
№4	39.66	5.0	0.3	2	1	3
№5	39.33	6.0	0	2	1	3
計		27.0		12	5	19

(8) 使用機械

試錐機	TDC-1G	1台
原動機	NS110C	1台
標準貫入試験装置		1式

2. 調査地の概要

2-1 位置及び地形

調査地は長崎市の西方に浮ぶ五島列島の福江島に存り、福江市役所より南西に約5.5 Kmの地点である。

調査地は、玄武岩流による標高60~70mの小丘を成すが、調査地に限定すれば、両側を小丘に挟まれた谷部にあたる。

2-2 地質概要

福江島に分布する主な地質系統は、砂岩、泥岩、凝灰岩などの地層よりなる新第三系に属する五島層群、これに貫入する花崗斑岩、石英斑岩、粗粒玄武岩などのような深成~半深成岩と、火砕流堆積物の福江溶結凝灰岩などがある。

表層地質図によれば調査地附近は玄武岩流より成り、周辺の露頭にも認められる。

3. 調査の方法

掘進は、コア採取率100%を目標とするため、玄武岩を除く半~未固結層は主として無水掘進とした。特に基盤調査であるため、礫の分布、径、硬さ、土砂の土質や風化の状況を注意深く観察しながら掘進した。標準貫入試験は、JIS-A 1219に規定されており、試験用サンプラーをロッド先端に取付け、標準ハンマー(63.5Kg)を高さ75cmから落下させ、30cm貫入するのに要した打撃回数によって土の強度を相対的に判定するものである。

試験は、深度1.00m毎に実施する事を原則としたが、土質状況により試験間隔は必ずしも一定ではない。ボーリングコアは試料箱に、貫入試験資料は一部を標本ビンに収納し、掘進終

了後カラー撮影を行った。

また、土質試験はJIS-A 1202（比重試験）、パラフィン塗布法（単位体積重量試験：密度試験）、JIS-A 1204（土の粒度試験）によった。

4. 調査結果

4-1 調査ボーリング結果

4本の調査ボーリング（位置は平面図参照）の結果は、附図土質柱状図に示す通りである。これをもとに第3図地質断面図を描いている。

これより、本調査地の地質は次の様に分類される。

- ① 崩積土
- ② 多孔質玄武岩

① 崩積土

本層は上位粘土層（層厚：0.60m～1.30m）と下位礫混り砂質粘土層（層厚：1.00m～3.20m）に分類され、前者は耕作土であり、上部には毛根が認められる。後者は、谷部における堆積土であり、礫種は玄武岩の風化礫である。

本層は非常に軟弱であり、コアーとして採取されない部分も認められる。

② 多孔質玄武岩

本層は上位極風化層と下位未風化層に分類され、前者は粘土化が著しく、岩芯がわずかに認められる程度である。

後者は半棒状～棒状コアーとして採取される硬質安定岩である。

4-2 標準貫入試験結果

原則として1m毎に標準貫入試験を実施した。

その結果は附図土質柱状図の右欄に示す通りである。これより、各地層により、次の様にまとめられる。

	崩 積 土	風化玄武岩	多孔質玄武岩
No 1	N=2~6	N=3~12 (3~22)	N>50
No 2	N=4~6	N=25	N>50
No 4	N=7 (2~10)	N=21 (11~22)	N>50
No 5	N=4	N=26	N>50

()は補正N値

この表より

- 崩 積 土 N=2~6 (軟弱)
- 風化玄武岩 N=3~26 (軟弱)
- 多孔質玄武岩 N>50 (硬質安定岩)

となる。

尚、参考資料として、砂地盤及び粘土地盤における諸定数とN値との関係を以下に示す。

(i) 砂地盤の場合

砂の相対密度，内部摩擦角とN値との関係 (Meyerhofによる)

砂の状態	相対密度 (Dr)	N 値	内部摩擦角 (φ°)	静的コーン支持力 (t/sq. ft)
非常にゆるい (Very Loose)	<0.2	<4	<30	<20
ゆるい (Loose)	0.2~0.4	4~10	30~35	20~40
締まった (Compact)	0.4~0.6	10~30	35~40	40~120
密な (Dense)	0.6~0.8	30~50	40~45	120~200
非常に密な (Very Dense)	>0.8	>50	>45	>200

(ii) 粘土地盤の場合

粘土のコンシステンシー，N値との関係 (Terzaghiによる)

コンシステンシー	非常に柔らかい	柔らかい	中ぐらい	かたい	非常にかたい	固結した
N	2以下	2~4	4~8	8~15	15~30	30以上
C (t/m ²)	1.3以下	1.3~2.5	2.5~5.0	5.0~10.0	10.0~20.0	20.0以上

この関係を中心値を用いて示せば

$$qu \approx \frac{N}{8}$$

となる。したがって、飽和粘土の場合

$$C = qu / 2 \approx N / 16$$

となる。

4-3 孔内水位

調査ボーリング掘進後の孔内水位は柱状図に示す通りである。

これより、調査地は谷部にあたり、水の集まりやすい地形となっており、162孔 (2.10m) を除いてほぼ地表面 (0.30m以上) まで水位がある。

したがって、施工中、施工後の排水に注意を要する。

4-4 土質試験結果

標準貫入試験サンプル及びボーリングコアを用いて、「比重試験」,「単位体積重量試験」,「土の粒度試験」を行った。その結果は、巻末の土質試験結果一覧表に示す通りである。

(1) 土粒子の比重試験

土質試験結果一覧表より崩積土を風化岩に分類すると次の様になる。

孔番	比 重	
	崩 積 土	風化玄武岩
№1	2.690~2.718	2.836~2.954
№2	2.660~2.779	2.774
№4	2.717~2.764	
№5	2.643	2.732
平均	2.710	2.824

以上より、崩積土層では均一の比重が得られており風化玄武岩層で崩積層よりやや大きくなっている。

また、風化層において試験値の範囲が大きいのは風化の程度によるものと思われる。

(2) 単位体積重量試験

孔番	単位体積重量 (g/cm^3)	
	崩 積 土	風化玄武岩
№1	1.413~1.597	1.490 ※
№2	1.676~1.760	1.536
№4	1.629~1.880	
№5	1.697	1.601
平均	1.648	1.542

※ ただし、深度 5.20~5.50m $\gamma_t=2.043g/cm^3$ は除いた。

以上より、崩 積 土 $\gamma_t=1.413\sim 1.880g/cm^3$ ($\bar{\gamma}_t=1.648g/cm^3$)

風化玄武岩 $\gamma_t=1.490\sim 1.601g/cm^3$ ($\bar{\gamma}_t=1.542g/cm^3$)

崩積土層は風化岩に比べやや重くなっているが、両者とも比較的軟弱で緩い地盤である事を示している。

(3) 粒度試験

日本統一土質分類法では粒度分布の良否の判定を次の様に判別する事にしている。

- ① $U_c \geq 10, 1 < U_c' \leq \sqrt{U_c}$: 粒度が良い。
- ② $U_c < 10$: 均等粒度, 粒度が悪い。
- ③ $U_c \geq 10, U_c' \leq 1$ 又は $U_c' > \sqrt{U_c}$: 階段粒度, 粒度が悪い。

ただし、

$$\text{均等係数} : U_c = \frac{D_{60}}{D_{10}}$$

$$\text{曲率係数} : U_c' = \frac{(D_{30})^2}{D_{10} \times D_{60}}$$

D_{60}, D_{30}, D_{10} : 粒径加積曲線の通過百分率 60%, 30%, 10% にそれぞれ相当する粒径 (有効径)

この判定方法を本調査地に適用すると次の様になる。

孔番		D_{10} (mm)	D_{30} (mm)	D_{60} (mm)	U_c	$\sqrt{U_c}$	U_c'	判定
No 1	A	-	0.0047	0.02				①
	B	-	0.006	0.07				③
No 2		-	0.0031	0.016				①
No 4		0.0022	0.015	0.24	109.1	10.45	0.43	③
No 5		0.0013	0.0085	0.037	28.5	5.34	1.50	①

ただし、No 1, No 2 孔は D_{10} が求められない為、粒径加積曲線より類堆した。

また、粒度特性より全孔ともシルト分以下が 50% 以上を占める。

(4) 総括

以上の土質試験結果をまとめると、全孔にわたって、自然含水比、飽和度が高く、締固めが悪い軟弱な地盤である事を示している。これは標準貫入試験結果 (N 値が小さい)、孔内水位 (水位が高い) から同じ事が云える。

5. 支持層の判定

地盤の支持力は、上部構造物の規模、基礎の形状、種類等により、検討しなければならないが、柱状図、貫入試験、土質試験結果より、その概略を示せば次の様になる。

(1) 風化玄武岩層

貫入試験結果より $N=21\sim25$ であり荷重の規模によっては支持層となり得るが、風化の程度により No 1 孔 ; $N=3\sim12$ (補正 $N=8$)、No 4 孔 ; (補正 $N=11$) 等の様に部分的に軟い部分も認められる。

また、土質試験結果より、崩積土と同様の単位体積重量、粒度分布等が得られているため、比較的緩い地盤である事を示している。

(2) 多孔質玄武岩層

標準貫入試験結果より、 $N > 50$ の硬質安定岩であり良好な支持層となり得る。

本層の達着深度を各孔毎に示すと次の様になる。

孔番	深 度 (m)	孔内水位 (m)
No 1	6.00	0.0
No 2	3.90	2.1
No 4	2.39	0.3
No 5	2.95	0.0

6. 結 言

今回の調査は概ね当初の目的を達して完了した。

そして、得られたデータをもとに支持層の判定を行った。

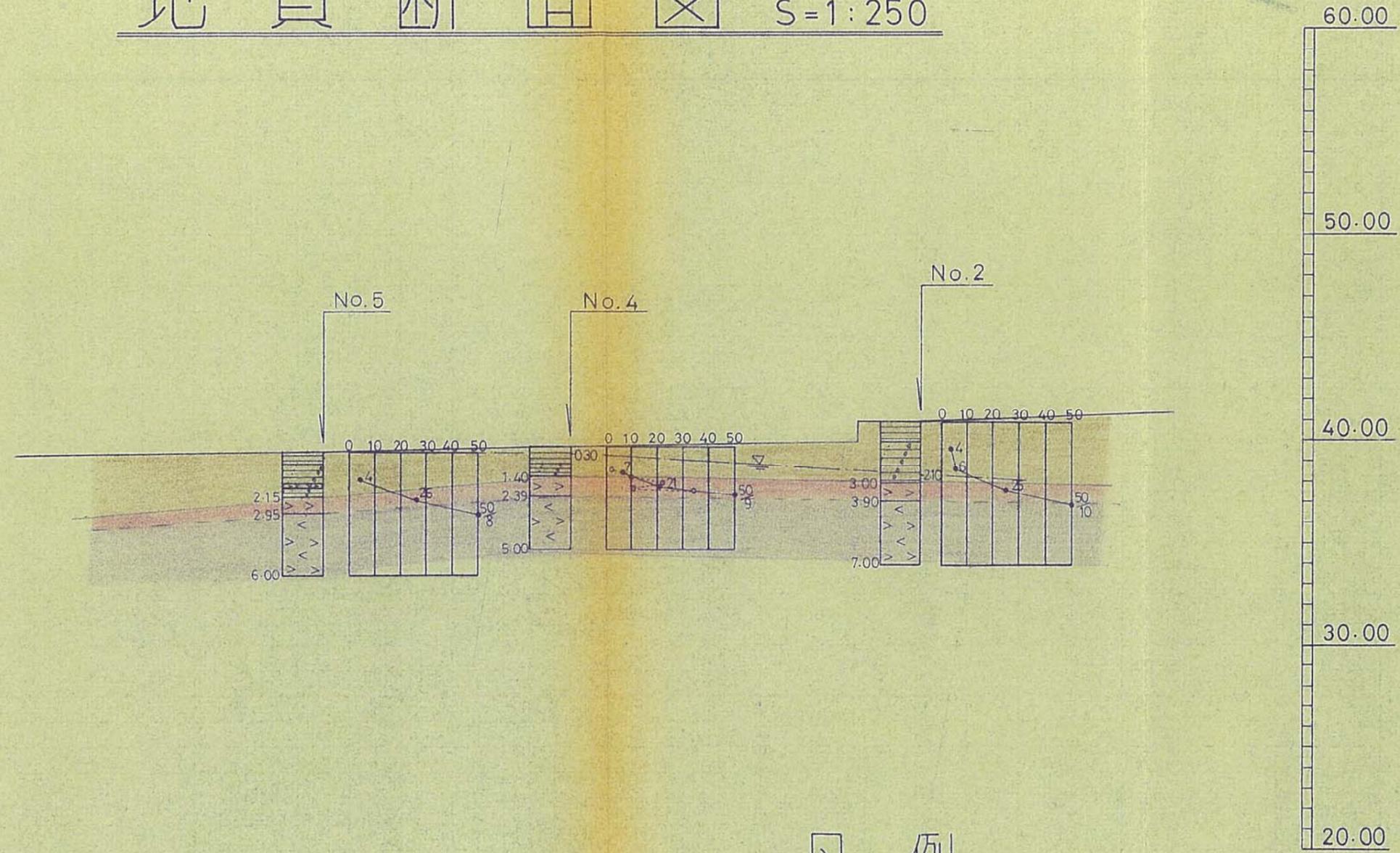
今後は、本報告書をもとに、安全かつ経済的な施工の行なわれる事を望む。

以 上

第3-3圖

地質断面圖

S=1:250



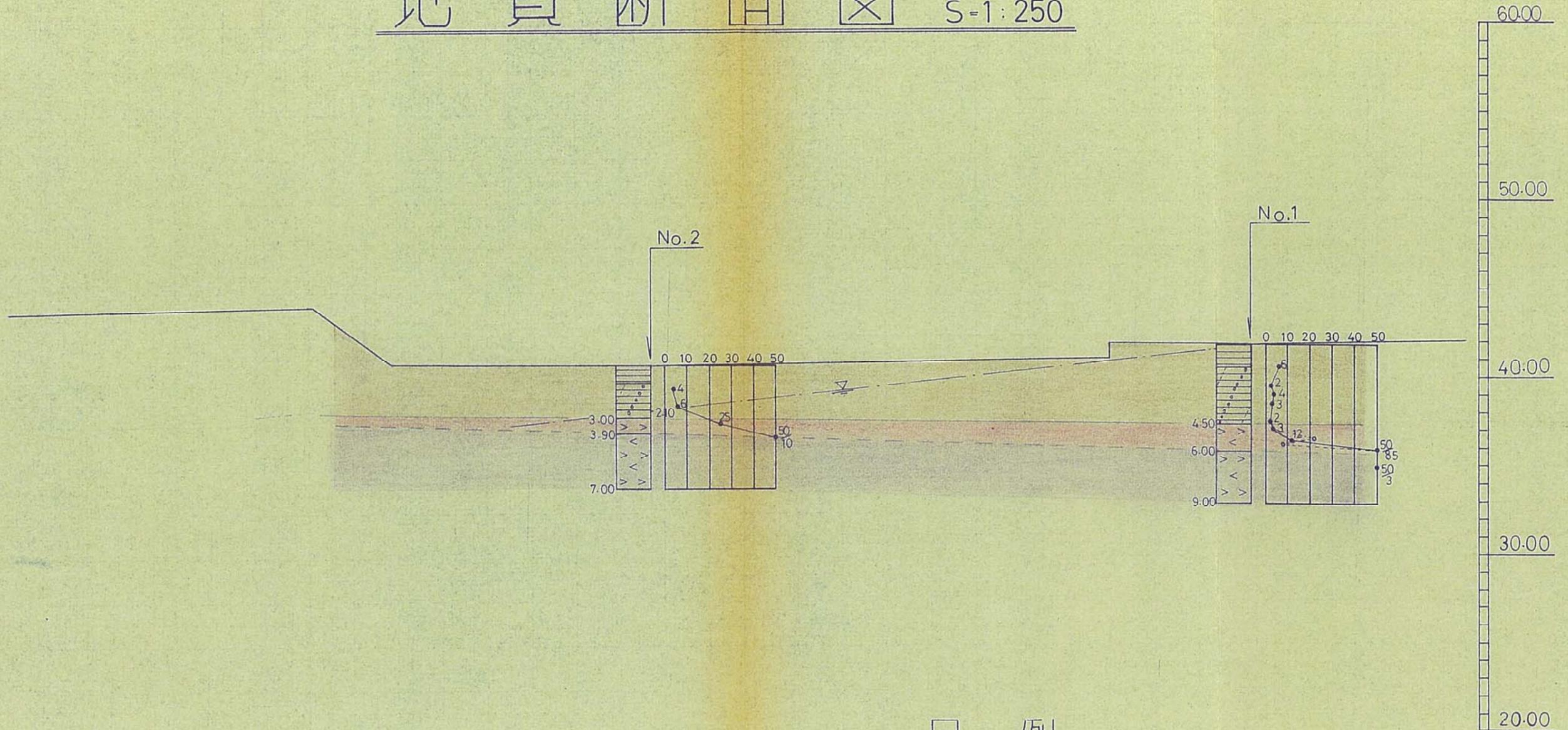
凡例

- 崩積土
- 風化玄武岩
- 多孔質玄武岩

第3-1圖

地質断面圖

S-1:250



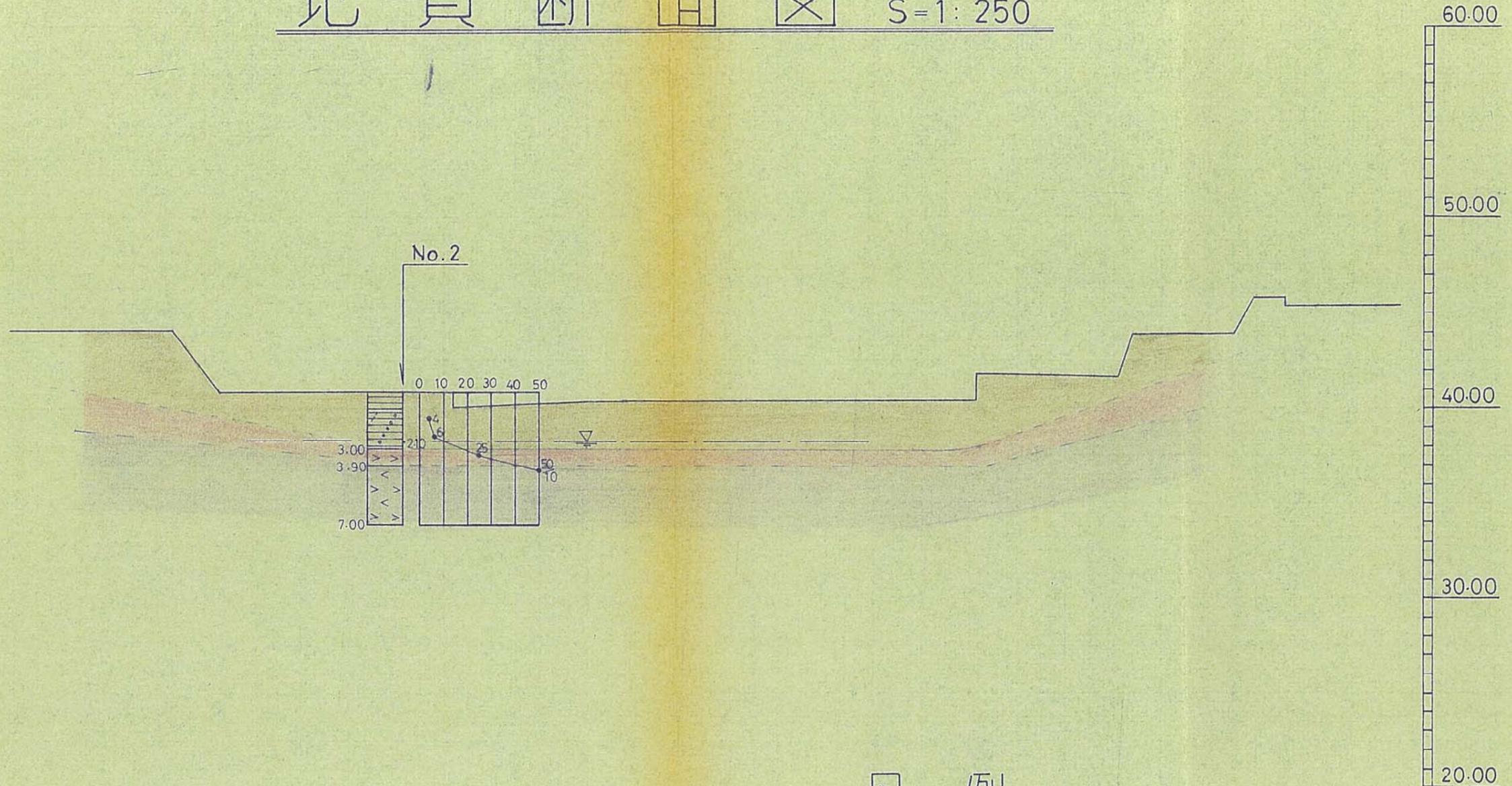
凡例

-  崩積土
-  風化玄武岩
-  多孔質玄武岩

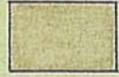
第3-2圖

地質断面圖

S=1:250



凡例

-  崩積土
-  風化玄武岩
-  多孔質玄武岩

土質柱状図 報告用紙

調査名：調査地点 ぶん処理施設建設地地質調査

標高 41.95 m

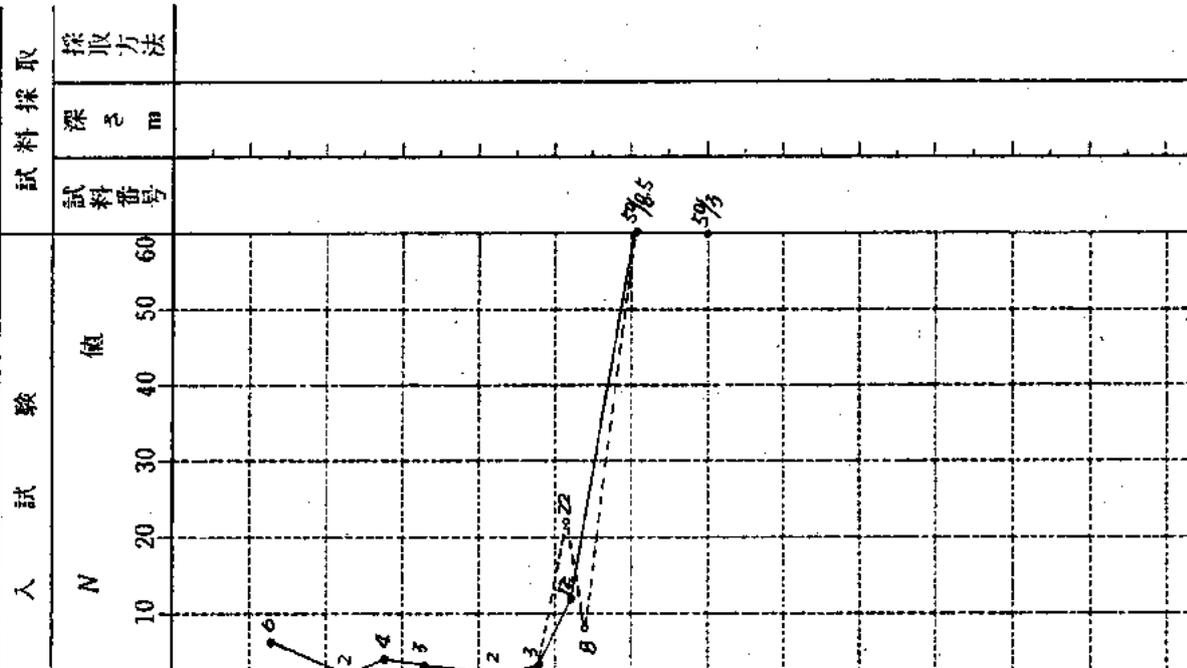
調査年月日 57年5月17日~57年5月12日

ボーリング孔：No. 1

孔内水位 0.00 m

調査担当者

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録		採取方法
				土質名	色調	
1	40.65	1.30	1.30	粘土	暗褐色	採取方法
2						深さ m
3						
4	37.45	4.50	3.20	砂混り粘土 (礫混り)	暗褐色 ~ 暗褐色	
5	36.75	5.20	0.70	玄武岩風化帯	黄暗褐色	
	36.45	5.50	0.30	"	紫	
	35.95	6.00	0.50	"	暗	
6						
7						
8						
9	32.95	9.00	3.00	多孔隙玄武岩	及	
10						
11						
12						
13						



土質柱状図 報告用紙

調査名：調査地点 之処処理施設建設地地質調査

標高 40.56 m

調査年月日 57年5月2日 年 月 日

ボーリング孔：No 2

孔内水位 2.10 m

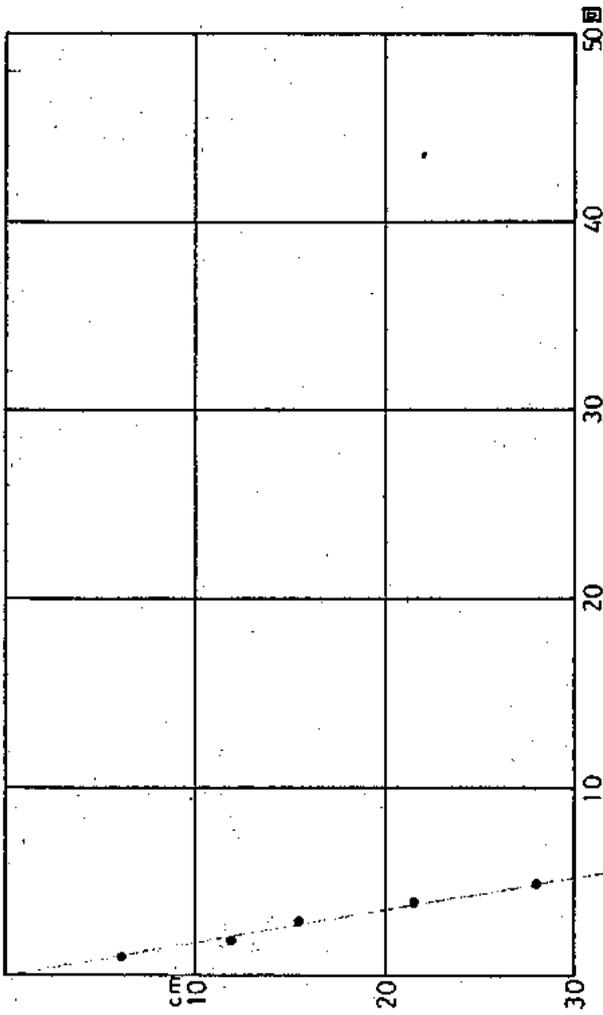
調査担当者

標尺 m	層厚 m	現場観察記録	標準貫入試験	試料採取				
				試料番号	採取方法			
高さ m	深さ m	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 10cm 20cm 30cm	N	値
39.56	1.00	粘土	暗褐	軟い 植物根が混る	1.55	2	4	
					1.505	1	6	
					2.05	2		
					2.465	2		
37.56	3.00	礫混用粘土	褐	軟い 礫5%以下玄武岩礫5%	6.31.5	2	25	
					7.7.5	7		
					9.4.5	8		
					11.2.2	7		
					13.00	50/10		59/10
36.66	3.90	玄武岩風化帯	帯黄暗灰	風化岩、軟い 礫混り約5%以下	25/20.5	7		
					27.2			
					4.00			
33.56	7.00	卵質玄武岩	暗灰	最大50cm棒状				

附図 14 撃数 - 累計貫入量の関係グラフ

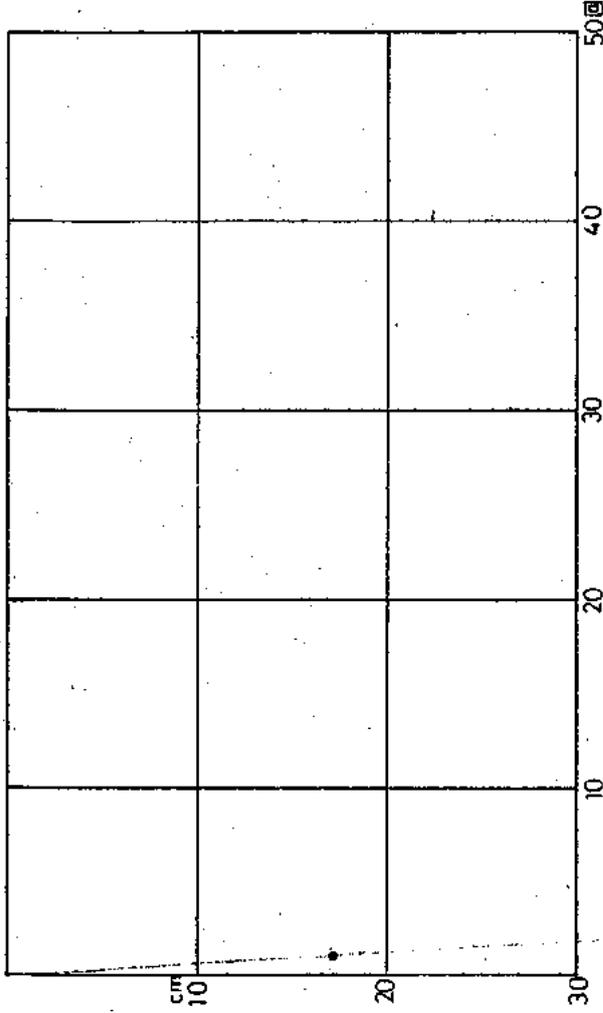
No. 1 試験深度 1.15 ~ 1.505

N 値 6/35.5



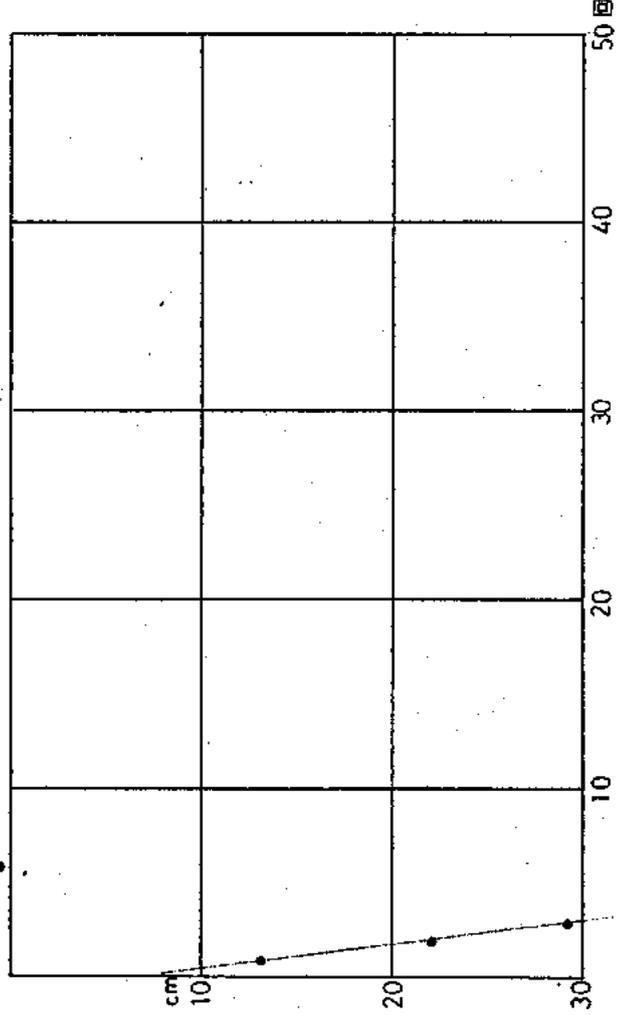
No. 1 試験深度 2.15 ~ 2.50

N 値 3/35



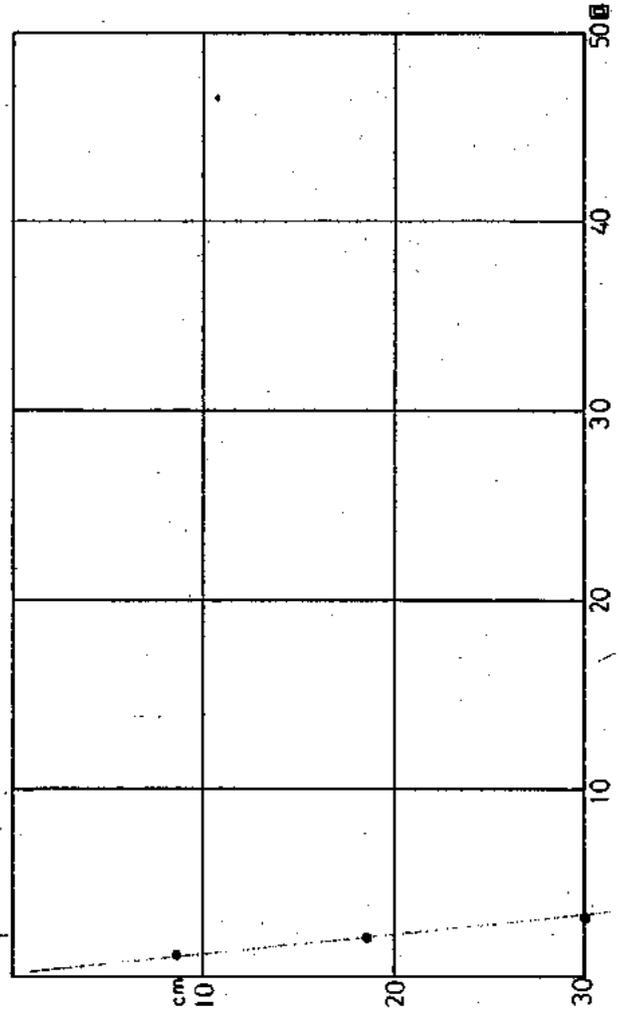
No. 1 試験深度 2.65 ~ 3.01

N 値 4/36



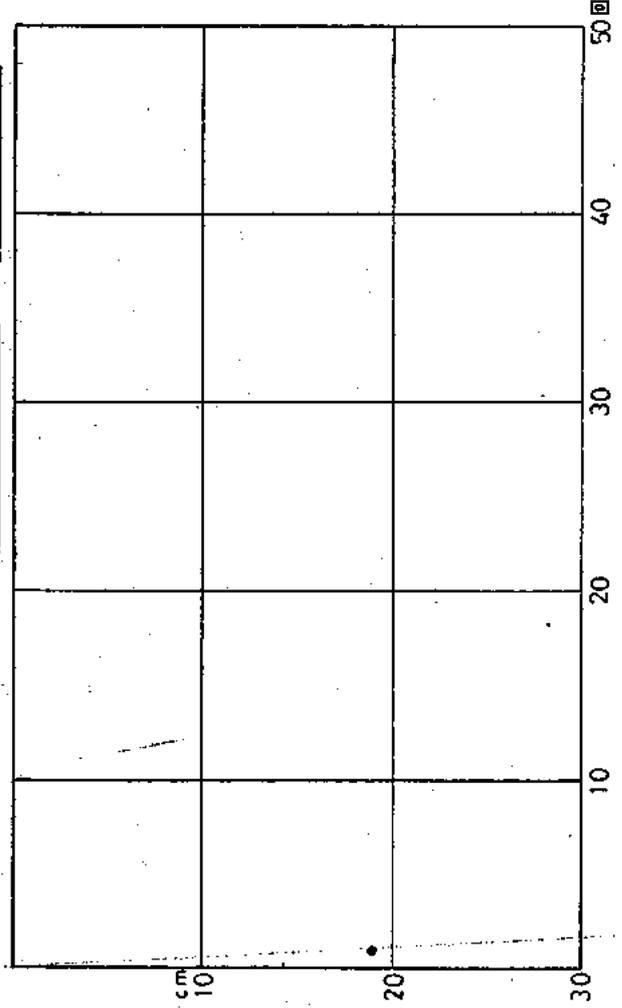
No. 1 試験深度 3.15 ~ 3.45

N 値 3/30

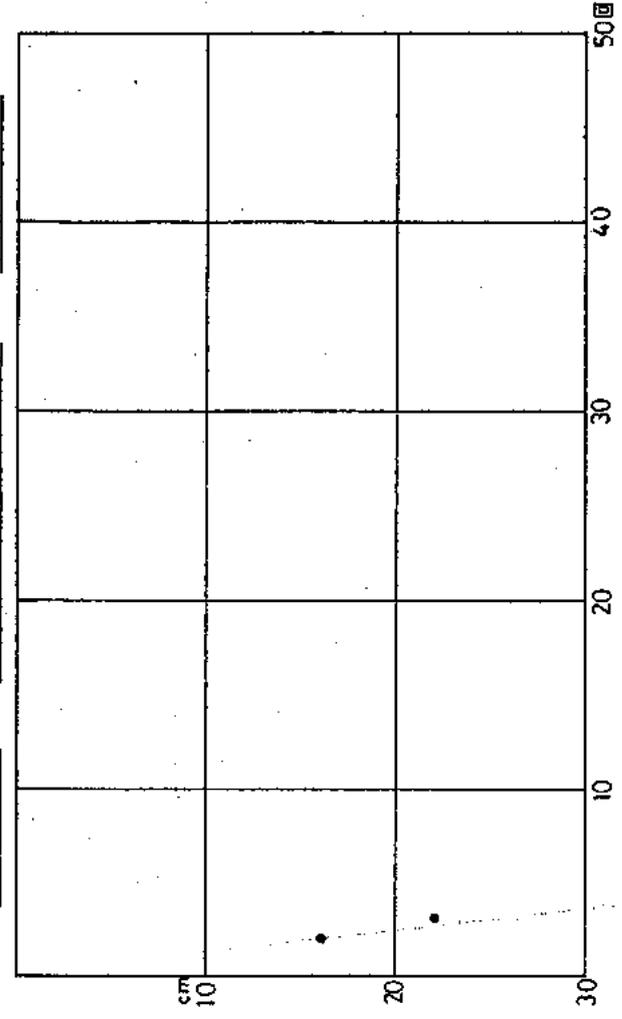


附図 利撃数 - 累計貫入量の関係グラフ

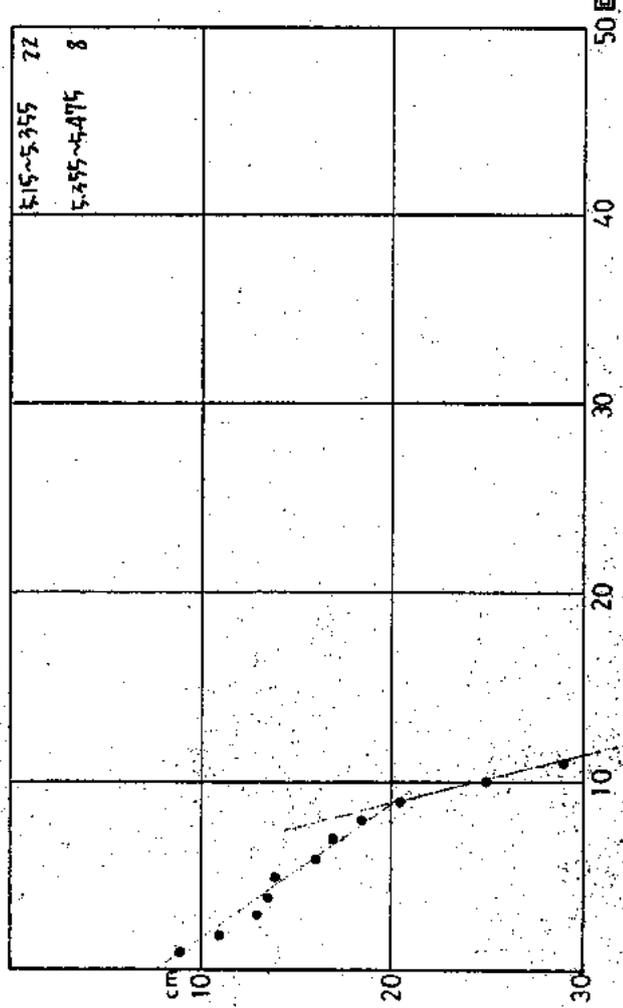
No. 1 試験深度 4.15 ~ 4.50 N値 3/35



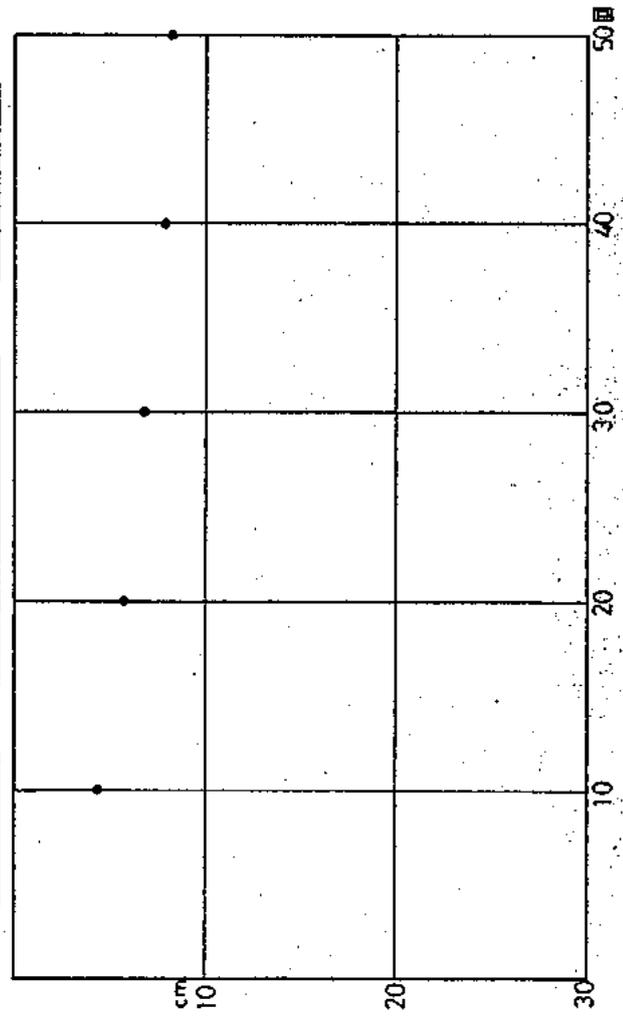
No. 1 試験深度 4.65 ~ 5.00 N値 3/35



No. 1 試験深度 5.15 ~ 5.475 N値 12/32.5



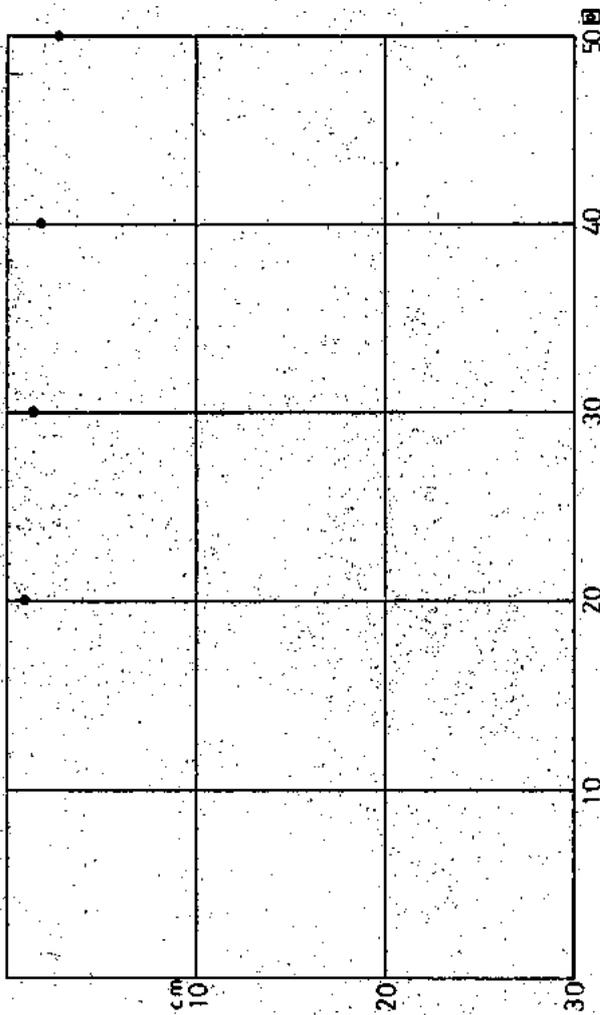
No. 1 試験深度 6.00 ~ 6.085 N値 5/8.5



附図 入量係数の累算 - 累算入量係数の関係グラフ

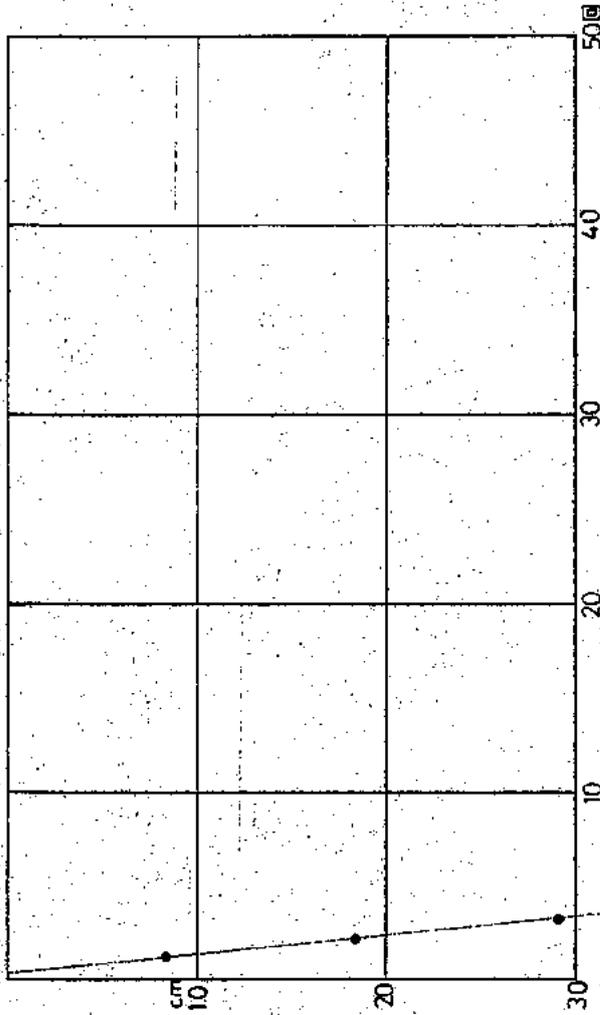
No. 1 試験深度 7.00 ~ 7.03

N値 5/3.0



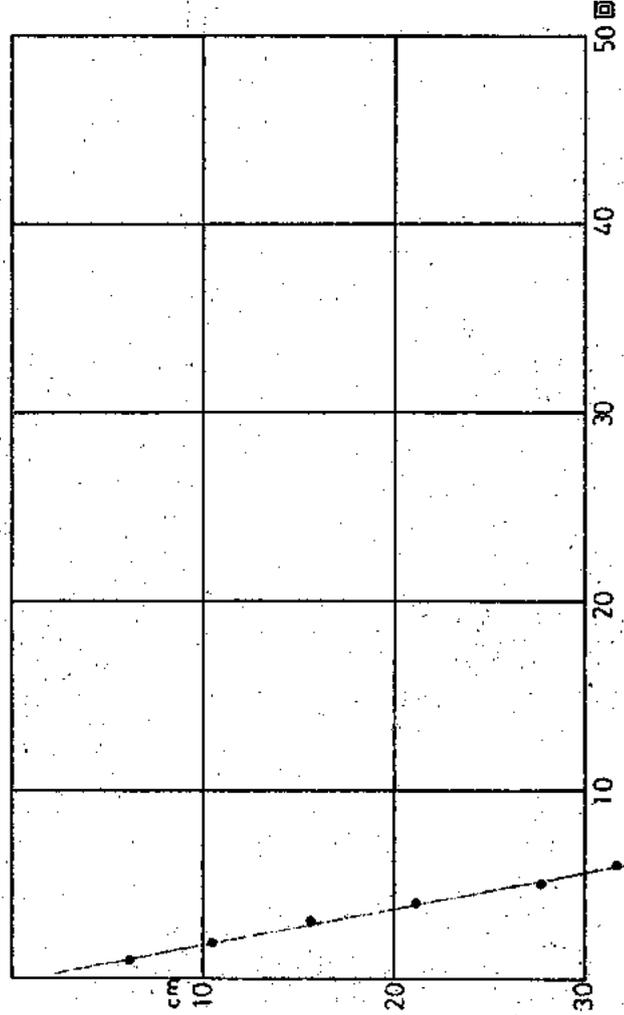
No. 2 試験深度 1.15 ~ 1.535

N値 4/38.5



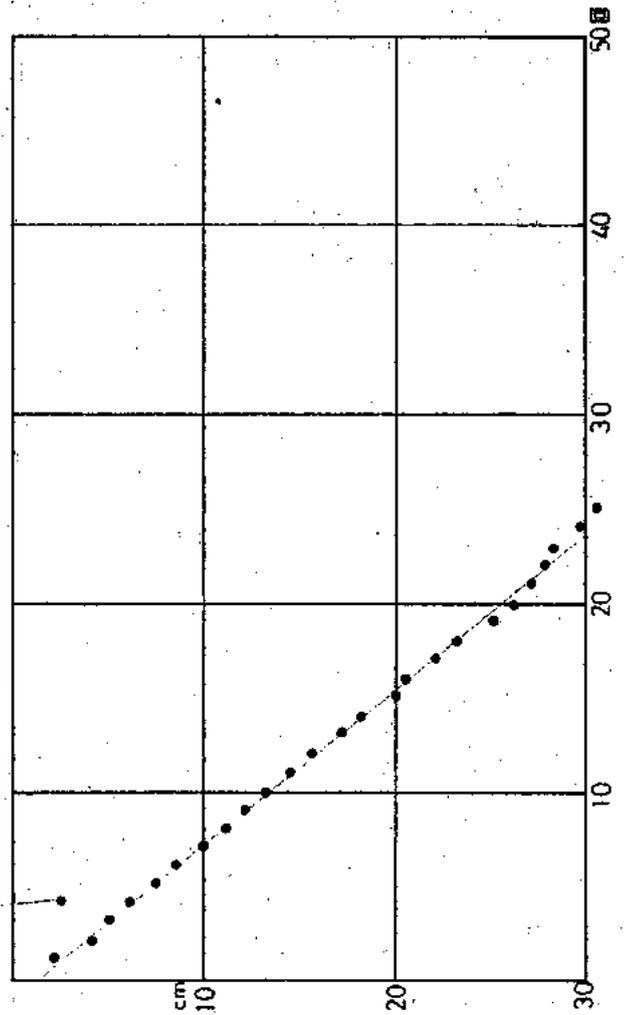
No. 2 試験深度 2.15 ~ 2.465

N値 6/31.5



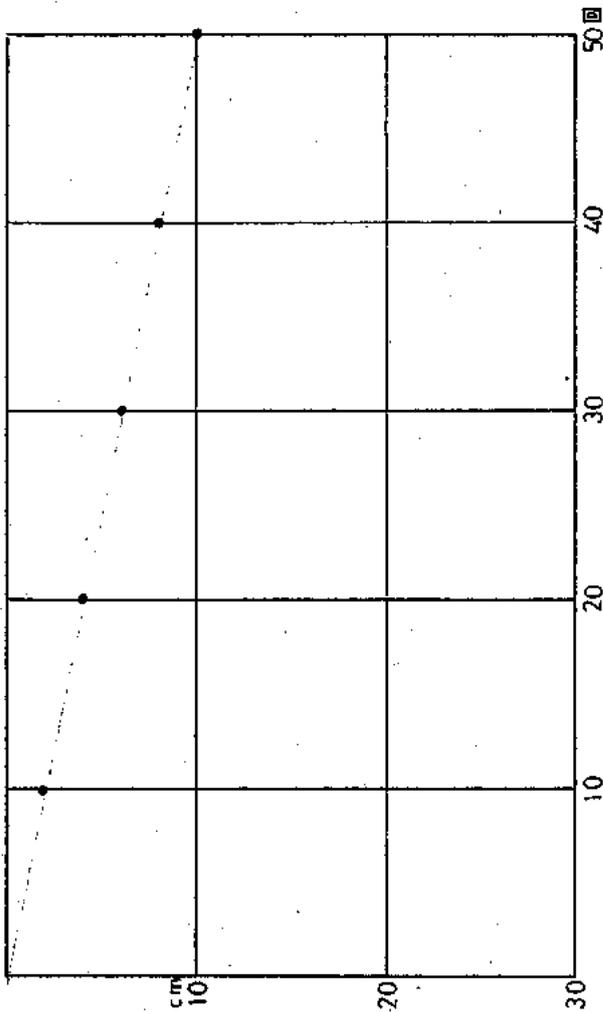
No. 2 試験深度 3.15 ~ 3.455

N値 25/30.5

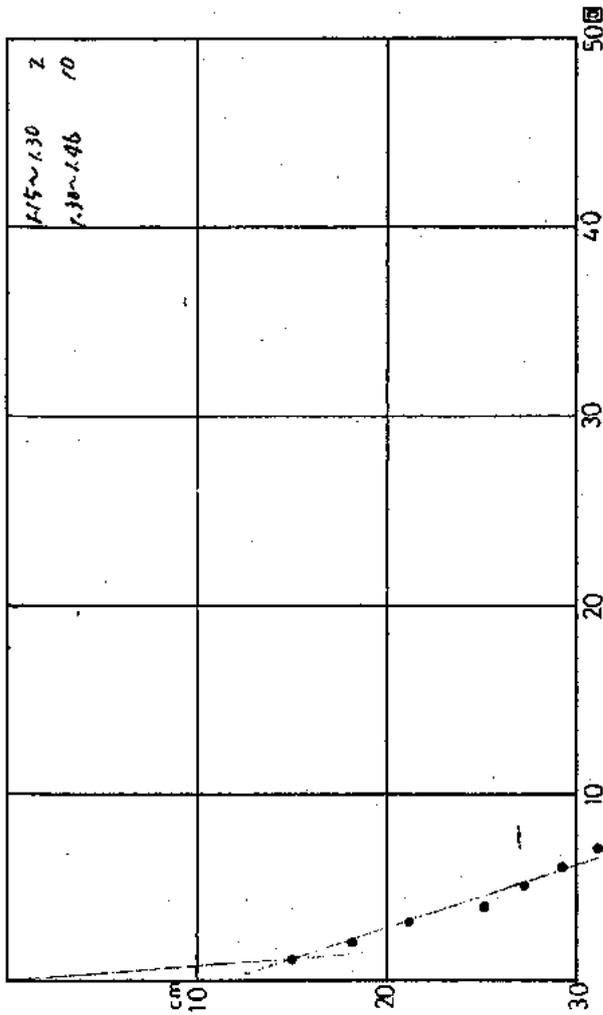


附図 二撃数 - 累計貫入量の関係グラフ

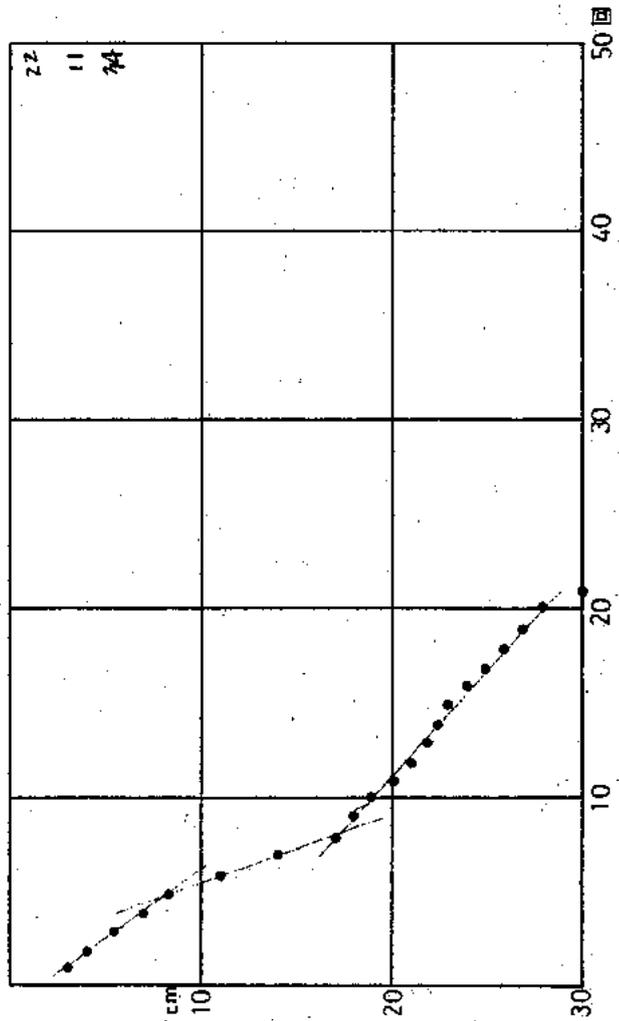
No. 2 試験深度 3.90 ~ 4.00 N値 9/10



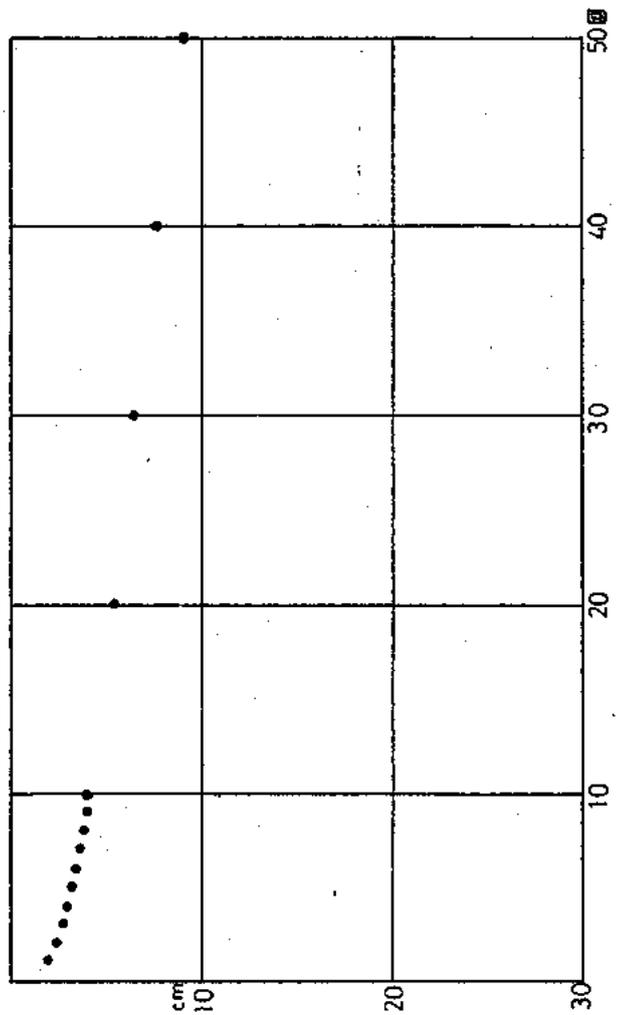
No. 4 試験深度 1.15 ~ 1.46 N値 7/31



No. 4 試験深度 1.75 ~ 2.05 N値 21/30



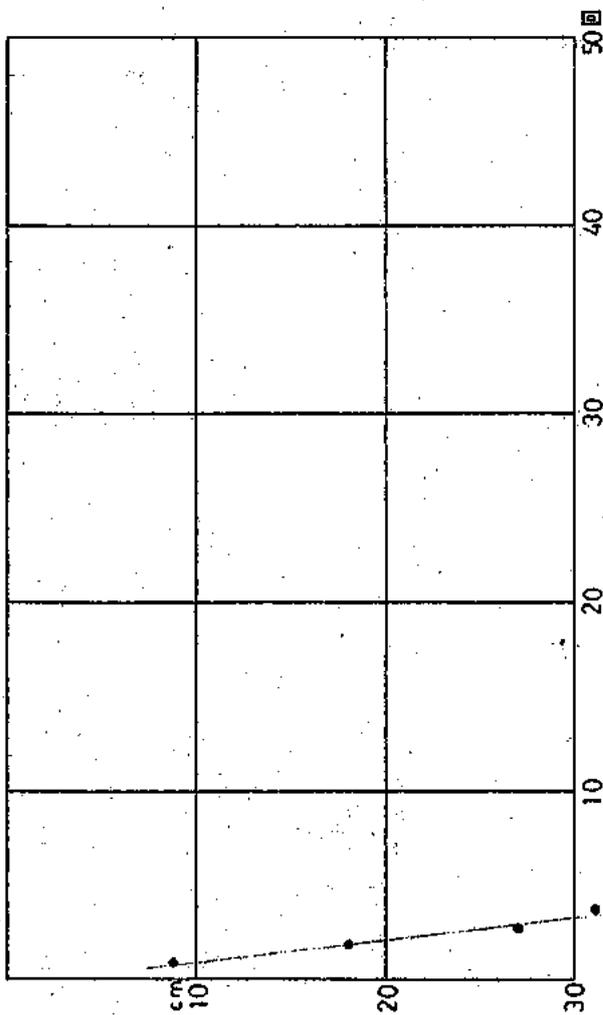
No. 4 試験深度 2.30 ~ 2.39 N値 59/9.0



附図 撃数-累計貫入量の関係グラフ

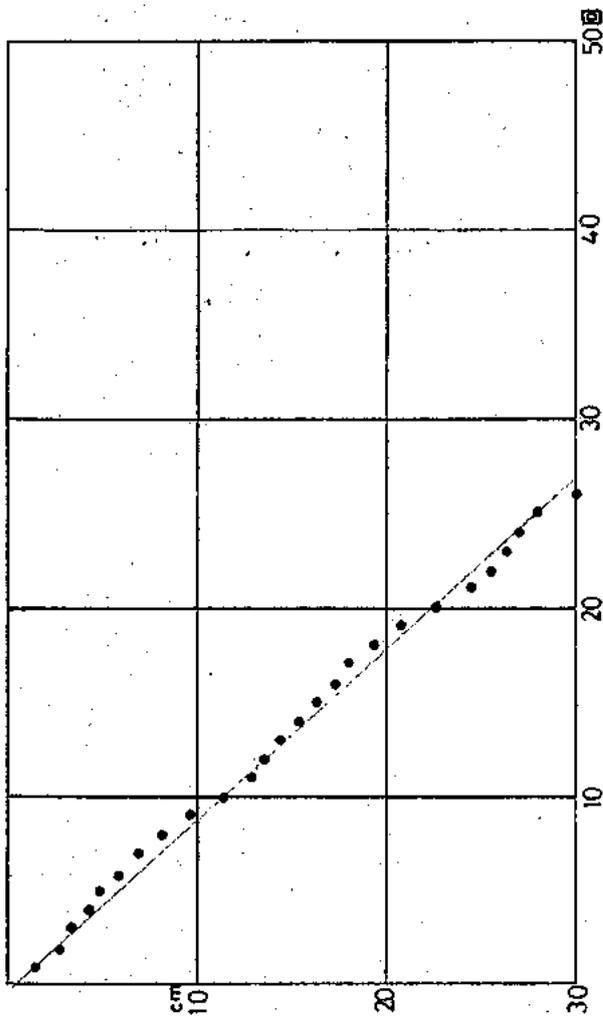
No.5 試験深度 1.15 ~ 1.46

N値 4/31



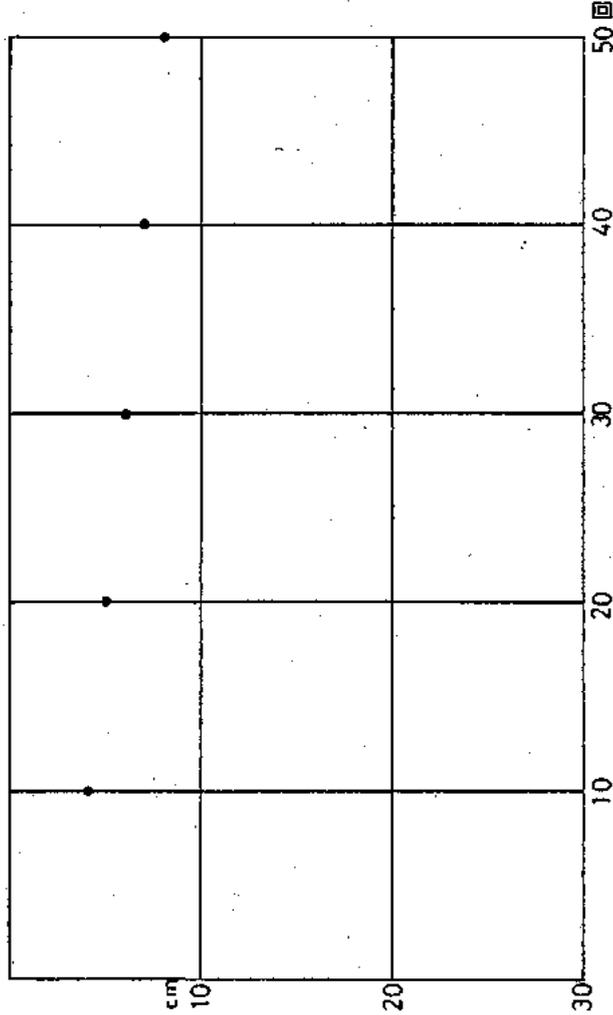
No. 5 試験深度 2.15 ~ 2.45

N値 26/30



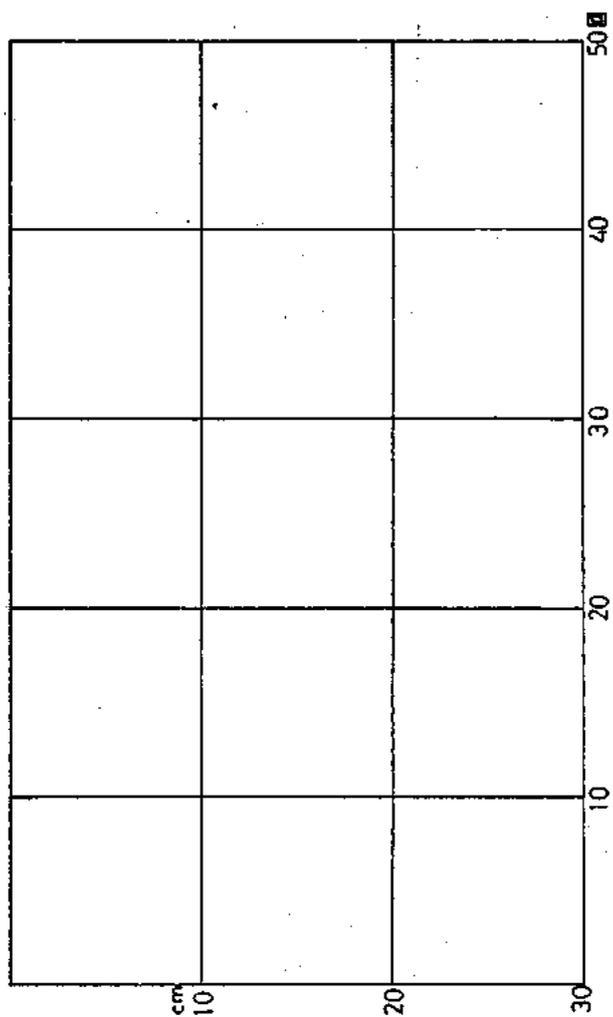
No. 5 試験深度 3.00 ~ 3.08

N値 5/8.0



No. 5 試験深度

N値



土質試験結果一覧表 (基礎地盤用)

報告用紙

調査名・調査地点

み処理施設建設地 地質調査

整理担当者

九十九 宏

試料番号		No.1	"	"	"	"	"
深 さ		m	0.3~0.5	1.0~1.5	2.0~2.5	4.5~5.0	5.2~5.5
粒 度 特 性	レキ分 (200 μ 以上)	%	5.69		6.59		
	砂分 (74~200 μ)	%	10.88		32.15		
	シルト分 (5~74 μ)	%	52.93		33.31		
	粘土分 (5 μ 以下)	%	21.0		28.04		
	最大粒径	mm	9.52		25.4		
	均等係数 U_c		—		—		
	曲率係数 U_c		—		—		
特 性 コンシステンシー	液性限界 w_L	%					
	塑性限界 w_p	%					
	塑性指数 I_p						
分 類							
土 粒 子 の 比 重 G_s			2.718	2.706	2.690	2.836	2.954
自 然 状 態	含 水 比 w	%	65.728	84.015	103.398	86.350	27.159
	湿潤単位体積重量 γ_t	g/cm ³	1.597	1.528	1.413	1.490	2.093
	間ゲキ比 e		1.825	2.291	2.876	2.558	0.851
	飽 和 度 S_r	%	98.198	100.350	96.828	96.522	97.211
力 学 特 性	一 試 軸 圧 縮 験	一軸圧縮強さ q_c	kg/cm ²				
		変形係数 E_{60}	kg/cm ²				
		鋭 敏 比 S_r					
	一 試 面 セ ン 断 験	※試験の条件					
		粘着力 c	kg/cm ²				
		せん断抵抗角 ϕ	度				
三 試 軸 圧 縮 験	※試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
圧 密 試 験	圧密降伏応力 p_c		kg/cm ²				
	圧縮指数 C_c						

備考

* 非圧密非排水試験:UU, 圧密非排水試験:CU, 圧密排水試験:CD, (間ゲキ水圧を測定した場合は記号の上に-を附す)

土質試験結果一覧表 (基礎地盤用)

報告用紙

調査名・調査地点

ゴミ処理施設建設地地質調査

整理担当者

九十九 宏

試料番号		No. 2	"	"			
深 さ m		0.3-0.5	1.0-1.5	3.12-3.5	-	-	-
粒度特性	レキ分 (2000 μ 以上)	%	10.3				
	砂分 (74-2000 μ)	%	9.72				
	シルト分 (5-74 μ)	%	41.98				
	粘土分 (5 μ 以下)	%	38.0				
	最大粒径	mm	19.1				
	均等係数 U_c		—				
	曲率係数 U_u		—				
特 コン シス テン シ ー 性	液性限界 w_L	%					
	塑性限界 w_p	%					
	塑性指数 I_p						
分類							
土粒子の比重 G_s			2.660	2.779	2.774		
自然 状態	含水比 w	%	54.962	41.727	67.878		
	湿潤単位体積重量 γ_t	g/cm ³	1.676	1.760	1.536		
	間ゲキ比 e		1.445	1.245	2.025		
	飽和度 S_r	%	100.227	94.210	92.419		
力 学 特 性	一試 軸 圧 縮 験	軸圧縮強さ q_v	kg/cm ²				
		変形係数 E_{50}	kg/cm ²				
		鋭敏比 S_r					
一試 面 セ ン 断 験	※試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
三試 軸 圧 縮 験	※試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
圧 密 試 験	圧 密 試 験	圧密降伏応力 p_v	kg/cm ²				
		圧縮指数 C_c					

備考

※ 非圧密非排水試験:UU, 圧密非排水試験:CU, 圧密排水試験:CD, (間ゲキ水圧を測定した場合は記号の上に一を附す)

土質試験結果一覧表 (基礎地盤用)

報告用紙

調査名・調査地点

ごみ処理施設建設地地質調査

整理担当者

九十九 宏

試料番号		No. 4					
深さ		m	0.3~0.5	1.0~1.4	~	~	~
粒度特性	レキ分 (2000 μ 以上)	%	80.11				
	砂分 (74~2000 μ)	%	17.63				
	シルト分 (5~74 μ)	%	36.76				
	粘土分 (5 μ 以下)	%	15.5				
	最大粒径	mm	25.4				
	均等係数 U_c		109.1				
	曲率係数 U_c'		0.93				
コンシステンシー性	液性限界 w_L	%					
	塑性限界 w_p	%					
	塑性指数 I_p						
分類							
土粒子の比重 G_s			2.717	2.764			
自然状態	含水比 w	%	50.952	46.112			
	湿潤単位体積重量 γ_t	g/cm ³	1.629	1.800			
	間ゲキ比 e		1.674	1.151			
	飽和度 S_r	%	98.014	111.197			
力学特性	一試軸圧縮試験	一軸圧縮強さ q_u	kg/cm ²				
		変形係数 E_{50}	kg/cm ²				
		鋭敏比 S_t					
	一試せん断試験	*試験の条件					
		粘着力 c	kg/cm ²				
		せん断抵抗角 ϕ	度				
三試軸圧縮試験	*試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
圧密試験	圧密降伏応力 P_r		kg/cm ²				
	圧縮指数 C_c						

備考

* 非圧密非排水試験:UU, 圧密非排水試験:CU, 圧密排水試験:CD, (間ゲキ水圧を測定した場合は記号の上に一を附す)

土質試験結果一覧表 (基礎地盤用)

報告用紙

調査名・調査地点

污水处理施設建設地地質調査

整理担当者

九十九 宏

試料番号		No.5	"				
深さ		m	0.3-0.5	2.0-2.5	-	-	-
粒度特性	レキ分 (2000 μ 以上)	%	6.39				
	砂分 (74-2000 μ)	%	17.32				
	シルト分 (5-74 μ)	%	56.29				
	粘土分 (5 μ 以下)	%	20.05				
	最大粒径	mm	19.1				
	均等係数 U_c		28.5				
	曲率係数 U_c		1.50				
コンシステンシー性	液性限界 w_L	%					
	塑性限界 w_p	%					
	塑性指数 I_p						
分類							
土粒子の比重 G_s			2.693	2.732			
自然状態	含水比 w	%	49.003	70.971			
	湿潤単位体積重量 γ	g/cm ³	1.697	1.601			
	間ゲキ比 e		1.327	1.916			
	飽和度 S_r	%	98.549	101.075			
力学特性	一試軸圧縮験	軸圧縮強さ q_0	kg/cm ²				
		変形係数 E_{50}	kg/cm ²				
		鋭敏比 S_r					
一試面せん断験	※試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
三試軸圧縮験	※試験の条件						
	粘着力 c	kg/cm ²					
	せん断抵抗角 ϕ	度					
圧密試験	圧密降伏応力 p_c		kg/cm ²				
	圧縮指数 C_c						

備考

※ 非圧密非排水試験:UU, 圧密非排水試験:CU, 圧密排水試験:CD, (間ゲキ水圧を測定した場合は記号の上に-を附す)

調査名・調査地点 〆み処理施設建設地 地質調査工事

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

試料番号・深さ		No. / (0.3 m~0.5 m)			No. / (1.0 m~1.5 m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		83	57	13	Y85	8	14
〔比重ビン+炉乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_0 g		88.889	90.349	95.025	89.180	90.905	97.527
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°	22°	22°	22°
比重ビンに入れた土の炉乾燥土重量 W_s g ※印は湿潤土を使用した場合	※容器番号	2-34	2-39	5-7	3-1	2-38	4-3
	※(容器+乾燥土)重量 g	63.875	55.283	86.889	50.993	51.312	65.161
	※容器重量 g	52.139	46.965	71.524	44.035	42.833	53.290
	W_s g	11.736	8.318	15.365	6.958	8.479	11.871
①	$T^\circ\text{C}$ における(比重ビン+蒸留水)の換算重量 W_w g	81.454	85.092	85.315	84.792	85.571	90.009
	$W_0 + (W_w - W_s)$ g	4.300	3.062	5.655	2.570	3.145	4.353
	$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_0}{W_0 + (W_w - W_s)}$	2.729	2.717	2.717	2.707	2.696	2.727
②	補正係数 K	0.998700	0.998700	0.998700	0.998700	0.998700	0.998700
	15°Cにおける比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$	2.726	2.714	2.714	2.703	2.693	2.723
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.718			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.706		
備考							

〔注〕①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

試料番号・深さ		No. / (2.0 m~2.5 m)			No. / (4.5 m~5.0 m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		47	Y49	32	Y38	Y80-2	Y9
〔比重ビン+炉乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_0 g		86.259	88.321	93.226	93.184	93.643	96.519
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°	24°	24°	24°
比重ビンに入れた土の炉乾燥土重量 W_s g ※印は湿潤土を使用した場合	※容器番号	1-23	1-18	2-36	4-2	5-7	2-26
	※(容器+乾燥土)重量 g	43.876	45.232	52.023	45.608	80.369	61.056
	※容器重量 g	36.691	37.568	43.945	36.521	71.524	51.230
	W_s g	7.185	7.664	8.078	9.027	8.845	9.826
①	$T^\circ\text{C}$ における(比重ビン+蒸留水)の換算重量 W_w g	81.760	83.488	88.142	87.313	87.917	90.168
	$W_0 + (W_w - W_s)$ g	2.686	2.831	2.994	3.156	3.119	3.475
	$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_0}{W_0 + (W_w - W_s)}$	2.675	2.707	2.698	2.860	2.836	2.827
②	補正係数 K	0.998700	0.998700	0.998700	0.998200	0.998200	0.998200
	15°Cにおける比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$	2.672	2.703	2.695	2.855	2.831	2.822
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.690			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.836		
備考							

〔注〕①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

調査名・調査地点 ごみ処理施設建設地 地質調査工事

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

試料番号・深さ		No. 1 (5.2 m ~ 5.5 m)			No. (m ~ m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		Y84	Y46	19			
[比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水]重量 W_0 g		93.153	98.028	90.401			
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°			
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号	1-1	1-6	2-21			
	* (容器+乾燥土) 重量 g	82.114	86.095	69.057			
	* 容器重量 g	69.512	64.574	48.300			
	W_s g	12.602	21.521	20.757			
① $T^\circ\text{C}$ における [比重ビン+蒸留水] の換算重量 W_0 g		84.820	83.779	76.653			
$W_s + (W_0 - W_0)$ g		4.269	7.272	7.009			
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_s}{W_s + (W_0 - W_0)}$		2.952	2.960	2.961			
② 補正係数 K		0.998700	0.998700	0.998700			
15°C における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$		2.948	2.956	2.957			
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.954			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =		
備考							

(注) ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

試料番号・深さ		No. (m ~ m)			No. (m ~ m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号							
[比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水]重量 W_0 g							
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$							
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号						
	* (容器+乾燥土) 重量 g						
	* 容器重量 g						
	W_s g						
① $T^\circ\text{C}$ における [比重ビン+蒸留水] の換算重量 W_0 g							
$W_s + (W_0 - W_0)$ g							
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_s}{W_s + (W_0 - W_0)}$							
② 補正係数 K							
15°C における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$							
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =		
備考							

(注) ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

調査名・調査地点 こみ処理施設建設地 地質調査工事 試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

試料番号・深さ		No. 2 (0.3 m~0.5 m)			No. 2 (1.0 m~1.5 m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		Y95	42	Y55	Y191	13-2	96-2
(比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_0 g		97.236	89.300	97.318	99.239	91.386	91.149
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°	22°	22°	22°
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号	2-31	3-3	4-5	3-8	3-7	2-15
	* (容器+乾燥土) 重量 g	58.206	80.693	86.006	82.678	86.594	62.093
	*容器重量 g	43.484	69.057	69.308	69.014	70.499	46.635
	W_c g	17.722	11.636	16.698	13.664	16.095	15.458
① $T^\circ\text{C}$ における(比重ビン+蒸留水)の換算重量 W_1 g		88.025	82.017	86.931	90.499	81.081	81.227
$W_0 + (W_c - W_1)$ g		5.511	4.353	6.311	4.924	5.790	5.536
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = \frac{W_0}{W_0 + (W_c - W_1)}$		2.671	2.674	2.646	2.775	2.780	2.792
② 補正係数 K		0.998700	0.998700	0.998700	0.998700	0.998700	0.998700
15°Cにおける比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}})$		2.668	2.670	2.643	2.772	2.776	2.789
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.660			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.779		
備考							

[注] ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

試料番号・深さ		No. 2 (3.12 m~3.50 m)			No. (m~ m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		72	Y59	9			
(比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_0 g		90.027	95.708	89.636			
W_0 をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°			
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号	5-6	2-29	1-11			
	* (容器+乾燥土) 重量 g	81.842	66.797	54.230			
	*容器重量 g	71.206	55.561	46.037			
	W_c g	10.636	11.236	8.193			
① $T^\circ\text{C}$ における(比重ビン+蒸留水)の換算重量 W_1 g		83.199	82.520	84.407			
$W_0 + (W_c - W_1)$ g		3.808	4.048	2.696			
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = \frac{W_0}{W_0 + (W_c - W_1)}$		2.793	2.776	2.764			
② 補正係数 K		0.998700	0.998700	0.998700			
15°Cにおける比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}})$		2.789	2.772	2.760			
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.774			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =		
備考							

[注] ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

調査名・調査地点 ごみ処理施設建設地 地質調査工事 試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

試料番号・深さ		No. 4 (0.3 m ~ 0.5 m)			No. 4 (1.0 m ~ 1.4 m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号		Y38	83-2	24	Y16	Y50	Y55
(比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_b g		96.101	104.640	81.466	98.140	91.574	96.902
W_b をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$		22°	22°	22°	24°	24°	24°
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号	2-35	4-10	2-32	1-18	3-7	2-46
	* (容器+乾燥土) 重量 g	57.075	75.678	62.421	60.795	81.862	64.057
	* 容器重量 g	43.209	59.325	50.965	46.561	70.499	48.372
	W_c g	13.866	16.353	11.456	14.234	11.363	15.685
① $T^\circ\text{C}$ における (比重ビン+蒸留水) の換算重量 W_a g		87.340	94.301	74.213	89.029	84.311	86.906
$W_s + (W_a - W_b)$ g		5.105	6.014	4.203	5.123	4.100	5.688
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_s}{W_s + (W_a - W_b)}$		2.716	2.719	2.725	2.779	2.772	2.757
② 補正係数 K		0.998700	0.998700	0.998700	0.998200	0.998200	0.998200
15°C における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$		2.713	2.715	2.722	2.774	2.767	2.752
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.717			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) = 2.764		
備考							

(注) ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

試料番号・深さ		No. (m ~ m)			No. (m ~ m)		
測定番号		1	2	3	1	2	3
比重ビン番号							
(比重ビン+乾燥土(または湿潤土)+蒸留水)重量 W_b g							
W_b をはかったときの内容物の温度 $T^\circ\text{C}$							
比重ビンに入れた土の乾燥土重量 W_s g *印は湿潤土を使用した場合	*容器番号						
	* (容器+乾燥土) 重量 g						
	* 容器重量 g						
	W_c g						
① $T^\circ\text{C}$ における (比重ビン+蒸留水) の換算重量 W_a g							
$W_s + (W_a - W_b)$ g							
$T^\circ\text{C}$ における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}}) = \frac{W_s}{W_s + (W_a - W_b)}$							
② 補正係数 K							
15°C における比重 $(\frac{T^\circ\text{C}}{15^\circ\text{C}}) = K \times \text{比重}(\frac{T^\circ\text{C}}{T^\circ\text{C}})$							
平均値		比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =			比重 ($T^\circ\text{C}/15^\circ\text{C}$) =		
備考							

(注) ①は備え付けの比重ビンの検定表より求め、②はJISの付表より求める。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みどり施設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日

試料番号・深さ: No. / (0.3 m ~ 0.5 m) 試験者 九十九 宏

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	53.991	50.768	57.335	
※パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	57.589	54.646	60.770	
※塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	3.593	3.878	3.435	
(供試体 ^(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	25.950	24.784	27.846	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.450	6.450	6.450	
供試体 ^(非塗布) の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	19.500	18.334	21.396	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_p}{W_2 = W_1 - W_p}$	g	28.084	26.312	29.374	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
※パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{WT}	cm ³	38.177	36.401	39.470	
※パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	4.125	4.463	3.953	
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = \frac{W_1 - W_p}{\gamma_k}}$	cm ³	34.042	31.938	35.517	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	1.586	1.590	1.614	
含水比	w	%	64.809	65.482	67.553	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³	0.962	0.961	0.963	

含水比測定	No. 64		No. 183		No. 142		No.		平均値
	W ₁	40.519	W ₂	39.963	W ₁	42.476	W ₂		
W ₃	23.287	W ₄	33.109	W ₃	32.903	W ₄		w = 65.948%	
W ₅	22.128	W ₆	22.642	W ₅	18.732	W ₆		$\gamma_d = 0.962 \text{ g/cm}^3$	
W ₇	7.232	W ₈	10.467	W ₇	7.573	W ₈			
w	64.809%	w	65.482%	w	67.553%	w			

試料番号・深さ: No. | (1.0 m ~ 1.5 m)

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	42.434	40.039	41.929	
※パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	46.254	43.124	45.635	
※塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	4.320	3.085	3.706	
(供試体 ^(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	19.861	20.504	20.457	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.450	6.450	6.450	
供試体 ^(非塗布) の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	13.411	14.054	14.007	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_p}{W_2 = W_1 - W_p}$	g	33.343	29.070	31.628	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
※パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{WT}	cm ³	33.424	29.141	31.705	
※パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	4.971	3.550	4.265	
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = \frac{W_1 - W_p}{\gamma_k}}$	cm ³	28.453	25.591	27.440	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	1.491	1.565	1.528	
含水比	w	%	80.610	85.465	83.211	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³	0.826	0.844	0.834	

含水比測定	No. 216		No. 275		No. 1		No.		平均値
	W ₁	44.680	W ₂	46.898	W ₁	52.460	W ₂		
W ₃	26.299	W ₄	27.525	W ₃	37.214	W ₄		w = 83.095%	
W ₅	25.902	W ₆	26.558	W ₅	18.892	W ₆		$\gamma_d = 0.835 \text{ g/cm}^3$	
W ₇	8.381	W ₈	10.397	W ₇	15.246	W ₈			
W ₉	10.397	W ₁₀	10.967	W ₉	18.322	W ₁₀			
w	80.610%	w	85.465%	w	83.211%	w			

備考: ※印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 γ_{WT} は T°C における水の密度, ただし常温における場合, 1 g/cm³ として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みどり処理施設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日

試料番号・深さ: No. | (2.0 m ~ 2.5 m) 試験者 九十九 宏

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	35.063	32.725	34.195	
※パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	40.062	37.129	37.487	
※塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	4.999	4.404	3.292	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	16.143	15.333	16.373	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	9.565	8.755	9.795	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量	$\frac{W_1 - W}{W_2 - W_3}$	g	30.497	28.374	27.692	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
※パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{wT}	cm ³	30.579	28.250	27.766	
※パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	5.753	5.068	3.788	
供試体体積	$\frac{V_1 - V_p}{\gamma_k}$	cm ³	24.826	23.382	23.978	
湿潤単位体積重量	$\gamma_s = W/V$	g/cm ³	1.412	1.400	1.426	
含水比	w	%	102.516	102.681	104.386	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_s / (1 + w/100)$	g/cm ³	0.694	0.691	0.698	

含水比測定	No. 43		No. 61		No. 226		No.		平均値
	W ₁ 28.216	W ₂ 23.586	W ₁ 36.686	W ₂ 29.715	W ₁ 43.386	W ₂ 34.199	W ₁ -----	W ₂ -----	
W ₃ 23.586	W ₄ 19.113	W ₃ 29.715	W ₄ 22.926	W ₃ 34.199	W ₄ 25.398	W ₃ -----	W ₄ -----	w = 102.526%	
W _p 4.630	W _s 4.472	W _p 6.971	W _s 6.789	W _p 9.187	W _s 8.801	W _p -----	W _s -----	$\gamma_d = 0.694$ g/cm ³	
	w = 102.510%		w = 102.681%		w = 104.386%		w = -----%		

試料番号・深さ: No. / (4.5 m ~ 5.0 m)

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	28.939	41.348	42.404	
※パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	32.487	44.596	46.839	
※塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	3.548	3.248	4.435	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	15.504	19.874	19.999	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	8.926	13.296	13.421	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量	$\frac{W_1 - W}{W_2 - W_3}$	g	23.561	31.300	33.418	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
※パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{wT}	cm ³	23.624	31.384	33.508	
※パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	4.083	3.738	5.104	
供試体体積	$\frac{V_1 - V_p}{\gamma_k}$	cm ³	19.541	27.646	28.404	
湿潤単位体積重量	$\gamma_s = W/V$	g/cm ³	1.481	1.496	1.493	
含水比	w	%	85.911	87.900	87.406	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_s / (1 + w/100)$	g/cm ³	0.797	0.796	0.797	

含水比測定	No. 74		No. 311		No. 259		No.		平均値
	W ₁ 38.744	W ₂ 32.061	W ₁ 35.457	W ₂ 31.200	W ₁ 38.636	W ₂ 32.001	W ₁ -----	W ₂ -----	
W ₃ 32.061	W ₄ 24.282	W ₃ 31.200	W ₄ 26.357	W ₃ 32.001	W ₄ 24.410	W ₃ -----	W ₄ -----	w = 87.072%	
W _p 6.683	W _s 7.779	W _p 4.257	W _s 4.843	W _p 6.635	W _s 7.591	W _p -----	W _s -----	$\gamma_d = 0.797$ g/cm ³	
	w = 85.911%		w = 87.900%		w = 87.406%		w = -----%		

備考: ※印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 γ_{wT} は T°C における水の密度、ただし常温における場合、1 g/cm³ として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みどり処理施設建設地地質調査 試験年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

試料番号・深さ: No. 1 (5.2 m ~ 5.5 m) 試験者 九十九 宏

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	44.445	49.271	43.129	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	42.125	51.880	46.937	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.680	2.609	3.808	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	29.036	31.521	29.881	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	22.458	24.943	21.303	
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_1 - W}{W_2 - W_3}$	g	24.667	26.937	25.634	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W _p / γ_p	cm ³	24.733	27.009	25.703	
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	3.084	3.002	4.382	
供試体体積	$\frac{W_4}{\gamma_k}$ V = V ₁ - V _p	cm ³	21.649	24.007	21.321	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	2.053	2.052	2.023	
含水比	w	%	28.369	28.509	27.125	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³	1.599	1.597	1.591	

含水比測定	No. <u>155</u>		No. <u>17</u>		No. <u>29</u>		No. _____		平均値
	W _a <u>29.348</u> W _b <u>26.980</u>	W _a <u>36.513</u> W _b <u>32.317</u>	W _a <u>30.574</u> W _b <u>28.436</u>	W _a _____ W _b _____	$\gamma_t = 2.043$ g/cm ³				
W _b <u>26.980</u> W _c <u>18.633</u>	W _b <u>32.317</u> W _c <u>17.599</u>	W _b <u>28.436</u> W _c <u>20.554</u>	W _b _____ W _c _____	w = <u>28.001</u> %					
W _w <u>2.368</u> W _s <u>8.347</u>	W _w <u>4.196</u> W _s <u>14.718</u>	W _w <u>2.138</u> W _s <u>7.882</u>	W _w _____ W _s _____	$\gamma_d = 1.596$ g/cm ³					
w = <u>28.369</u> %	w = <u>28.509</u> %	w = <u>27.125</u> %	w = _____ %						

試料番号・深さ: No. _____ (_____ m ~ _____ m)

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g				
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g				
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g				
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g				
受ザラの液中重量	W ₃	g				
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g				
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_1 - W}{W_2 - W_3}$	g				
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³				
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W _p / γ_p	cm ³				
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³				
供試体体積	$\frac{W_4}{\gamma_k}$ V = V ₁ - V _p	cm ³				
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³				
含水比	w	%				
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³				

含水比測定	No. _____		No. _____		No. _____		No. _____		平均値
	W _a _____ W _b _____	$\gamma_t =$ _____ g/cm ³							
W _b _____ W _c _____	w = _____ %								
W _w _____ W _s _____	$\gamma_d =$ _____ g/cm ³								
w = _____ %									

備考: *印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。

γ_{wT} は T°C における水の密度, ただし常温における場合, 1 g/cm³ として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みみ理施設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日
 試料番号・深さ: No. 2 (0.3 m ~ 0.5 m) 試験者 九十九 宏

供 試 体 番 号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	34.669	44.855	40.855	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	37.608	48.287	43.996	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.939	3.432	3.141	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	20.360	24.250	22.577	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	13.782	17.672	15.999	
供試体で置換された(ケロシン)の重量	W ₅ = W - W ₄ W ₆ = W ₁ - W ₄	g	23.826	30.615	27.997	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ _k , γ _p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ /γ _{wT}	cm ³	23.890	30.697	28.072	
*パラフィン体積	V _p = W _p /γ _p	cm ³	3.382	3.949	3.614	
供試体体積	ケロシン 水 V = W ₅ /γ _k V = V ₁ - V _p	cm ³	20.508	26.748	24.458	
湿潤単位体積重量	γ ₁ = W/V	g/cm ³	1.691	1.677	1.670	
含水比	w	%	55.028	54.329	53.965	
乾燥単位体積重量	γ _d = γ ₁ /(1+w/100)	g/cm ³	1.091	1.087	1.085	

含水比測定	No. 210		No. 185		No. 161		No. _____		平均値
	W ₁ 48.450 W ₂ 39.782	W ₁ 52.118 W ₂ 42.273	W ₁ 36.354 W ₂ 30.216	W ₁ _____ W ₂ _____	γ ₁ = 1.676 g/cm ³				
W ₃ _____ W ₄ 24.030	W ₃ _____ W ₄ 24.152	W ₃ _____ W ₄ 18.842	W ₃ _____ W ₄ _____	w = 54.441%					
W ₅ 8.668 W ₆ 15.752	W ₅ 9.845 W ₆ 16.121	W ₅ 6.138 W ₆ 11.374	W ₅ _____ W ₆ _____	γ _d = 1.088 g/cm ³					
w = 55.028%	w = 54.329%	w = 53.965%	w = _____%						

試料番号・深さ: No. (1.0 m ~ 1.5 m)

供 試 体 番 号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	39.537	42.491	47.241	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	41.613	45.162	50.090	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.076	2.671	2.849	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	23.346	24.579	26.711	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	16.768	18.001	20.133	
供試体で置換された(ケロシン)の重量	W ₅ = W - W ₄ W ₆ = W ₁ - W ₄	g	24.845	27.161	29.957	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ _k , γ _p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ /γ _{wT}	cm ³	24.912	27.234	30.037	
*パラフィン体積	V _p = W _p /γ _p	cm ³	2.389	3.074	3.278	
供試体体積	ケロシン 水 V = W ₅ /γ _k V = V ₁ - V _p	cm ³	22.523	24.160	26.759	
湿潤単位体積重量	γ ₁ = W/V	g/cm ³	1.755	1.759	1.765	
含水比	w	%	41.949	42.010	42.674	
乾燥単位体積重量	γ _d = γ ₁ /(1+w/100)	g/cm ³	1.237	1.239	1.237	

含水比測定	No. 351		No. 62		No. 325		No. _____		平均値
	W ₁ 36.298 W ₂ 31.898	W ₁ 32.361 W ₂ 33.239	W ₁ 40.060 W ₂ 35.198	W ₁ _____ W ₂ _____	γ ₁ = 1.760 g/cm ³				
W ₃ _____ W ₄ 21.409	W ₃ _____ W ₄ 23.427	W ₃ _____ W ₄ 23.794	W ₃ _____ W ₄ _____	w = 42.198%					
W ₅ 4.400 W ₆ 10.489	W ₅ 4.122 W ₆ 9.812	W ₅ 4.862 W ₆ 11.404	W ₅ _____ W ₆ _____	γ _d = 1.238 g/cm ³					
w = 41.949%	w = 42.010%	w = 42.634%	w = _____%						

備考: *印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 γ_{wT} は T°C における水の密度、ただし常温における場合、1 g/cm³ として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みみ処理施設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日

試料番号・深さ: No. 2 (3.12m~3.50m) 試験者

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	31.638	30.268	36.148	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	34.320	32.025	38.109	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.682	1.757	1.961	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	17.223	16.920	19.022	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.578	6.578	6.578	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	10.645	10.342	12.444	
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_1}{W_2 = W_1 - W_1}$	g	23.675	21.683	25.665	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{WT}	cm ³	23.938	21.741	25.734	
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	3.086	2.022	2.257	
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = V_1 - V_p}$	cm ³	20.652	19.719	23.477	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	1.532	1.535	1.540	
含水比	w	%	66.576	67.050	68.777	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w)$	g/cm ³	0.920	0.919	0.912	

含水比測定	No. 153		No. 81		No. 212		No.		平均値							
	W _a	39.377	W _b	31.087	W _a	42.625	W _b	35.273		W _a	43.394	W _b	36.528	W _c		W _d
W _b		W _c	18.635	W _b		W _c	24.308	W _b		W _c	26.545	W _d		W _e		w = 67.468%
W _w	8.290	W _s	12.452	W _w	7.352	W _s	10.965	W _w	6.866	W _s	9.983	W _t		W _u		$\gamma_d = 0.917 \text{ g/cm}^3$
	w = 66.576%		w = 67.050%		w = 68.777%		w = %									

試料番号・深さ: No. (m ~ m)

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g				
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g				
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g				
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g				
受ザラの液中重量	W ₃	g				
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g				
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_1}{W_2 = W_1 - W_1}$	g				
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³				
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{WT}	cm ³				
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³				
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = V_1 - V_p}$	cm ³				
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³				
含水比	w	%				
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w)$	g/cm ³				

含水比測定	No.		No.		No.		No.		平均値							
	W _a		W _b		W _a		W _b			W _a		W _b		W _c		W _d
W _b		W _c		W _b		W _c		W _b		W _c		W _d		W _e		w = %
W _w		W _s		W _w		W _s		W _w		W _s		W _t		W _u		$\gamma_d = \text{ g/cm}^3$
	w = %		w = %		w = %		w = %									

備考: *印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 γ_{WT} はT°Cにおける水の密度、ただし常温における場合、1 g/cm³として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 みみ丸埋設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日

試料番号・深さ: No.4 (0.3 m ~ 0.5 m) 試験者 十九 宏

供試体番号	1	2	3	4
供試体の空气中重量 W	44.700	38.121	51.526	
*パラフィン塗布後の供試体重量 W_1	47.360	40.588	53.946	
*塗布したパラフィン重量 $W_p = W_1 - W$	2.610	2.467	2.420	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量 W_2	23.737	21.213	26.441	
受ザラの液中重量 W_3	6.790	6.790	6.790	
供試体(非塗布)の液中重量 $W_4 = W_2 - W_3$	16.947	14.423	19.651	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量 $\frac{W_4 = W - W_p}{W_4 = W_1 - W_p}$	30.413	26.165	34.295	
ケロシンまたはパラフィンの密度 γ_k, γ_p g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積 $V_1 = W_p / \gamma_p$ cm ³	30.502	26.242	34.396	
*パラフィン体積 $V_p = W_p / \gamma_p$ cm ³	3.003	2.839	2.785	
供試体体積 (ケロシン/水) $V = \frac{W_4 / \gamma_k}{V = V_1 - V_p}$ cm ³	27.499	23.403	31.611	
湿潤単位体積重量 $\gamma_t = W / V$ g/cm ³	1.627	1.629	1.630	
含水比 w %	58.731	60.773	61.603	
乾燥単位体積重量 $\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$ g/cm ³	1.025	1.013	1.009	

含水比測定	No. 220	No. 366	No. 146	No.	平均値
W_a	42.131	48.637	43.570	W_a	$\gamma_t = 1.629$ g/cm ³
W_b	35.236	39.264	33.971	W_b	
W_w	23.496	23.841	18.389	W_c	
W_a	6.895	9.373	9.599	W_w	$w = 60.369$ %
	$w = 58.731$ %	$w = 60.773$ %	$w = 61.603$ %	$w =$ %	$\gamma_d = 1.016$ g/cm ³

試料番号・深さ: No.4 (1.0 m ~ 1.4 m)

供試体番号	1	2	3	4
供試体の空气中重量 W	40.471	39.621	46.571	
*パラフィン塗布後の供試体重量 W_1	42.076	41.853	48.835	
*塗布したパラフィン重量 $W_p = W_1 - W$	1.605	2.232	2.264	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量 W_2	25.504	5.169	28.266	
受ザラの液中重量 W_3	6.790	6.790	6.790	
供試体(非塗布)の液中重量 $W_4 = W_2 - W_3$	18.714	18.379	21.476	
供試体で置換された(ケロシン/水)の重量 $\frac{W_4 = W - W_p}{W_4 = W_1 - W_p}$	23.362	23.474	27.359	
ケロシンまたはパラフィンの密度 γ_k, γ_p g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積 $V_1 = W_p / \gamma_p$ cm ³	23.431	23.543	27.439	
*パラフィン体積 $V_p = W_p / \gamma_p$ cm ³	1.847	2.568	2.605	
供試体体積 (ケロシン/水) $V = \frac{W_4 / \gamma_k}{V = V_1 - V_p}$ cm ³	21.584	20.975	24.834	
湿潤単位体積重量 $\gamma_t = W / V$ g/cm ³	1.875	1.889	1.875	
含水比 w %	45.894	47.005	46.014	
乾燥単位体積重量 $\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$ g/cm ³	1.285	1.285	1.284	

含水比測定	No. 103	No. 187	No. 305	No.	平均値
W_a	40.627	39.735	44.243	W_a	$\gamma_t = 1.880$ g/cm ³
W_b	33.670	34.579	38.147	W_b	
W_w	18.511	23.610	24.899	W_c	
W_a	6.957	5.156	6.096	W_w	$w = 46.304$ %
	$w = 45.894$ %	$w = 47.005$ %	$w = 46.014$ %	$w =$ %	$\gamma_d = 1.285$ g/cm ³

備考: *印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 $\gamma_{w, T}$ は T°C における水の密度、ただし常温における場合、1 g/cm³ として計算する。

単位体積重量試験

(ケロシン法
パラフィン塗布法)

報告用紙

調査名・調査地点 こみ処理施設建設地地質調査 試験年月日 年 月 日

試料番号・深さ: No.5 (0.3 m~0.5 m) 試験者 九十九 宏

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	44.350	46.911	42.759	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	46.595	49.129	44.289	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.245	2.218	1.530	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	25.192	26.123	23.479	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.790	6.790	6.790	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	18.402	19.333	16.689	
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_p}{W_2 = W_1 - W_p}$	g	28.193	29.796	27.600	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{wT}	cm ³	28.276	29.883	27.681	
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	2.583	2.552	1.761	
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = \frac{W_4 - W_p}{\gamma_k}}$	cm ³	25.693	27.331	25.920	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	1.726	1.716	1.650	
含水比	w	%	51.887	51.214	45.290	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³	1.136	1.135	1.136	

含水比測定	No. 205		No. 47		No. 59		No. _____		平均値
	W _a 43.099	W _b 36.031	W _a 38.208	W _b 31.499	W _a 44.838	W _b 38.021	W _a _____	W _b _____	
W ₁ _____	W ₂ 22.409	W ₁ _____	W ₂ 18.399	W ₁ _____	W ₂ 22.969	W ₁ _____	W ₂ _____	w = 49.464%	
W ₃ 7.068	W ₄ 13.622	W ₃ 6.709	W ₄ 13.100	W ₃ 6.817	W ₄ 15.052	W ₃ _____	W ₄ _____	$\gamma_d = 1.136 \text{ g/cm}^3$	
	w = 51.887%		w = 51.214%		w = 45.290%		w = _____%		

試料番号・深さ: No.5 (2.0 m~2.5 m)

供試体番号			1	2	3	4
供試体の空气中重量	W	g	51.645	46.497	47.303	
*パラフィン塗布後の供試体重量	W ₁	g	53.881	48.786	49.354	
*塗布したパラフィン重量	W _p = W ₁ - W	g	2.236	2.289	2.051	
(供試体(非塗布) + 受ザラ)の液中重量	W ₂	g	25.814	23.913	24.496	
受ザラの液中重量	W ₃	g	6.790	6.790	6.790	
供試体(非塗布)の液中重量	W ₄ = W ₂ - W ₃	g	19.024	17.123	17.706	
供試体で置換された(ケロシン水)の重量	$\frac{W_4 = W - W_p}{W_2 = W_1 - W_p}$	g	34.857	31.663	31.648	
ケロシンまたはパラフィンの密度	γ_k, γ_p	g/cm ³	0.869	0.869	0.869	
*パラフィン塗布した供試体体積	V ₁ = W ₁ / γ_{wT}	cm ³	34.959	31.756	31.741	
*パラフィン体積	V _p = W _p / γ_p	cm ³	2.573	2.634	2.360	
供試体体積	$\frac{V = \frac{W_4}{\gamma_k}}{V = \frac{W_4 - W_p}{\gamma_k}}$	cm ³	32.386	29.122	29.381	
湿潤単位体積重量	$\gamma_t = W/V$	g/cm ³	1.595	1.597	1.610	
含水比	w	%	70.910	69.859	71.852	
乾燥単位体積重量	$\gamma_d = \gamma_t / (1 + w/100)$	g/cm ³	0.933	0.940	0.937	

含水比測定	No. 307		No. 105		No. 65		No. _____		平均値
	W _a 42.271	W _b 35.899	W _a 43.737	W _b 33.293	W _a 40.632	W _b 32.323	W _a _____	W _b _____	
W ₁ _____	W ₂ 26.913	W ₁ _____	W ₂ 18.343	W ₁ _____	W ₂ 20.759	W ₁ _____	W ₂ _____	w = 70.874%	
W ₃ 6.372	W ₄ 8.986	W ₃ 10.444	W ₄ 14.950	W ₃ 8.309	W ₄ 11.564	W ₃ _____	W ₄ _____	$\gamma_d = 0.937 \text{ g/cm}^3$	
	w = 70.910%		w = 69.859%		w = 71.852%		w = _____%		

備考: *印はパラフィン塗布法の場合のみ使用する。
 γ_{wT} は T°C における水の密度、ただし常温における場合、1 g/cm³ として計算する。

調査名・調査地点 こみ処理施設建設地地質調査

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

試料番号 深 さ	含 水 比 測 定			平均含水比
No. <u>1</u> <u>0.3</u> m - <u>0.5</u> m	No. <u>162</u> W _a <u>40.686</u> W _b <u>31.925</u> W _b <u>31.925</u> W _c <u>18.739</u> W _a <u>8.761</u> W _c <u>12.186</u> w = <u>66.442</u> %	No. <u>91</u> W _a <u>25.838</u> W _b <u>25.528</u> W _b <u>25.528</u> W _c <u>19.895</u> W _a <u>10.300</u> W _c <u>15.693</u> w = <u>65.844</u> %	No. <u>55</u> W _a <u>23.077</u> W _b <u>33.748</u> W _b <u>33.748</u> W _c <u>19.373</u> W _a <u>9.329</u> W _c <u>17.375</u> w = <u>69.897</u> %	w = <u>65.728</u> %
No. <u>1</u> <u>1.0</u> m - <u>1.5</u> m	No. <u>143</u> W _a <u>21.113</u> W _b <u>20.858</u> W _b <u>20.858</u> W _c <u>18.672</u> W _a <u>10.255</u> W _c <u>12.186</u> w = <u>84.154</u> %	No. <u>63</u> W _a <u>29.610</u> W _b <u>27.100</u> W _b <u>27.100</u> W _c <u>21.925</u> W _a <u>12.510</u> W _c <u>15.175</u> w = <u>82.738</u> %	No. <u>15</u> W _a <u>22.012</u> W _b <u>22.901</u> W _b <u>22.901</u> W _c <u>19.900</u> W _a <u>11.111</u> W _c <u>13.001</u> w = <u>85.763</u> %	w = <u>84.015</u> %
No. <u>1</u> <u>2.0</u> m - <u>2.5</u> m	No. <u>156</u> W _a <u>29.561</u> W _b <u>23.898</u> W _b <u>23.898</u> W _c <u>18.732</u> W _a <u>5.663</u> W _c <u>5.466</u> w = <u>103.604</u> %	No. <u>67</u> W _a <u>24.098</u> W _b <u>26.025</u> W _b <u>26.025</u> W _c <u>18.110</u> W _a <u>8.067</u> W _c <u>7.915</u> w = <u>101.920</u> %	No. <u>120</u> W _a <u>22.018</u> W _b <u>24.666</u> W _b <u>24.666</u> W _c <u>17.632</u> W _a <u>7.252</u> W _c <u>7.039</u> w = <u>109.521</u> %	w = <u>103.348</u> %
No. <u>1</u> <u>4.5</u> m - <u>5.0</u> m	No. <u>121</u> W _a <u>25.283</u> W _b <u>28.213</u> W _b <u>28.213</u> W _c <u>19.267</u> W _a <u>7.770</u> W _c <u>8.946</u> w = <u>86.854</u> %	No. <u>71</u> W _a <u>27.073</u> W _b <u>25.391</u> W _b <u>25.391</u> W _c <u>25.159</u> W _a <u>8.732</u> W _c <u>10.182</u> w = <u>85.759</u> %	No. <u>1</u> W _a <u>20.215</u> W _b <u>20.330</u> W _b <u>20.330</u> W _c <u>18.894</u> W _a <u>2.885</u> W _c <u>11.436</u> w = <u>86.438</u> %	w = <u>86.350</u> %
No. <u>1</u> <u>5.2</u> m - <u>5.5</u> m	No. <u>126</u> W _a <u>23.988</u> W _b <u>20.736</u> W _b <u>20.736</u> W _c <u>19.274</u> W _a <u>2.252</u> W _c <u>11.462</u> w = <u>28.372</u> %	No. <u>25</u> W _a <u>29.402</u> W _b <u>25.183</u> W _b <u>25.183</u> W _c <u>19.997</u> W _a <u>4.119</u> W _c <u>15.186</u> w = <u>27.124</u> %	No. <u>4</u> W _a <u>28.508</u> W _b <u>25.278</u> W _b <u>25.278</u> W _c <u>22.846</u> W _a <u>2.230</u> W _c <u>12.432</u> w = <u>25.981</u> %	w = <u>27.159</u> %
No. _____ _____ m - _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m - _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m - _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _a _____ W _c _____ w = _____ %	w = _____ %

含水比 $w = \frac{W_a - W_b}{W_b - W_c} \times 100 \%$
 $= \frac{W_w}{W_s} \times 100 \%$

W_a: 容器の重量+湿潤土, g W_w: 試料中の水の重量, g
 W_b: 容器の重量+乾燥土, g W_s: 乾燥土の重量, g
 W_c: 容器の重量, g

調査名・調査地点 水処理施設建設地地質調査

試験年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

試験者 九十九 宏

試料番号 深さ	含 水 比 測 定			平均含水比
No. <u>2</u> <u>0.3 m</u> ~ <u>0.5 m</u>	No. <u>130</u> <u>W_a 92.011 W_b 33.756</u> <u>W_b 33.756 W_c 19.439</u> <u>W_c 8.255 W_s 15.322</u> <u>w = 53.877%</u>	No. <u>153</u> <u>W_a 49.092 W_b 25.054</u> <u>W_b 25.054 W_c 18.635</u> <u>W_c 9.038 W_s 16.819</u> <u>w = 55.096%</u>	No. <u>118</u> <u>W_a 92.009 W_b 33.954</u> <u>W_b 33.954 W_c 19.082</u> <u>W_c 8.055 W_s 18.872</u> <u>w = 58.162%</u>	<u>w = 57.362%</u>
No. <u>2</u> <u>1.0 m</u> ~ <u>1.5 m</u>	No. <u>29</u> <u>W_a 36.700 W_b 32.015</u> <u>W_b 32.015 W_c 20.554</u> <u>W_c 8.685 W_s 11.961</u> <u>w = 80.878%</u>	No. <u>117</u> <u>W_a 36.210 W_b 30.766</u> <u>W_b 30.766 W_c 17.584</u> <u>W_c 5.949 W_s 13.182</u> <u>w = 41.299%</u>	No. <u>128</u> <u>W_a 91.091 W_b 26.506</u> <u>W_b 26.506 W_c 25.989</u> <u>W_c 9.525 W_s 10.522</u> <u>w = 83.005%</u>	<u>w = 91.727%</u>
No. <u>2</u> <u>3.13 m</u> ~ <u>3.5 m</u>	No. <u>2</u> <u>W_a 43.360 W_b 32.978</u> <u>W_b 32.978 W_c 17.832</u> <u>W_c 10.382 W_s 15.146</u> <u>w = 68.546%</u>	No. <u>28</u> <u>W_a 40.409 W_b 21.565</u> <u>W_b 21.565 W_c 18.336</u> <u>W_c 8.844 W_s 13.229</u> <u>w = 66.853%</u>	No. <u>77</u> <u>W_a 47.285 W_b 27.565</u> <u>W_b 27.565 W_c 23.379</u> <u>W_c 9.600 W_s 19.186</u> <u>w = 68.236%</u>	<u>w = 67.878%</u>
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	w = _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	No. _____ W _a _____ W _b _____ W _b _____ W _c _____ W _c _____ W _s _____ w = _____ %	w = _____ %

$$\text{含水比 } w = \frac{W_a - W_b}{W_b - W_c} \times 100 \%$$

$$= \frac{W_w}{W_s} \times 100 \%$$

W_a: 容器の重量+湿潤土, g W_w: 試料中の水の重量, g
 W_b: 容器の重量+乾燥土, g W_s: 乾燥土の重量, g
 W_c: 容器の重量, g

調査名・調査地点 みどり処理施設建設地地質調査

試験年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

試験者 九十九 宏

試料番号 深 さ	含 水 比 測 定				平均含水比
No. <u>4</u> <u>0.3 m</u> ~ <u>0.5 m</u>	No. <u>106</u> W_a <u>42.113</u> W_b <u>23.712</u> W_b <u>23.712</u> W_c <u>19.343</u> W_a <u>8.901</u> W_s <u>18.269</u> $w = 58.966\%$	No. <u>69</u> W_a <u>41.759</u> W_b <u>22.006</u> W_b <u>23.006</u> W_c <u>17.895</u> W_a <u>8.753</u> W_s <u>15.111</u> $w = 57.925\%$	No. <u>80</u> W_a <u>45.769</u> W_b <u>27.632</u> W_b <u>27.632</u> W_c <u>24.183</u> W_a <u>8.132</u> W_s <u>13.449</u> $w = 60.965\%$		$w = 58.952\%$
No. <u>4</u> <u>1.0 m</u> ~ <u>1.4 m</u>	No. <u>189</u> W_a <u>28.250</u> W_b <u>22.079</u> W_b <u>22.079</u> W_c <u>18.728</u> W_a <u>6.171</u> W_s <u>13.351</u> $w = 46.221\%$	No. <u>110</u> W_a <u>40.712</u> W_b <u>23.888</u> W_b <u>23.888</u> W_c <u>19.351</u> W_a <u>6.869</u> W_s <u>14.537</u> $w = 47.217\%$	No. <u>25</u> W_a <u>43.832</u> W_b <u>27.907</u> W_b <u>27.907</u> W_c <u>24.710</u> W_a <u>5.925</u> W_s <u>13.197</u> $w = 44.897\%$		$w = 46.112\%$
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_a _____ W_s _____ $w =$ _____ %		$w =$ _____ %

含水比 $w = \frac{W_a - W_b}{W_b - W_c} \times 100 \%$
 $= \frac{W_w}{W_s} \times 100 \%$

W_a : 容器の重量+湿润土, g W_b : 試料中の水の重量, g
 W_b : 容器の重量+乾燥土, g W_c : 乾燥土の重量, g
 W_c : 容器の重量, g

調査名・調査地点 みどり理施設建設地地質調査

試験年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

試験者 九十九 宏

試料番号 深さ	含水量測定			平均含水比
No. <u>5</u> <u>0.3 m</u> <u>~ 0.5 m</u>	No. <u>205</u> W_a <u>42.884</u> W_b <u>36.250</u> W_b <u>36.250</u> W_c <u>22.409</u> W_b <u>6.634</u> W_s <u>13.891</u> $w =$ <u>47.930</u> %	No. <u>286</u> W_a <u>45.177</u> W_b <u>38.089</u> W_b <u>38.089</u> W_c <u>23.960</u> W_w <u>7.080</u> W_s <u>14.129</u> $w =$ <u>50.166</u> %	No. <u>366</u> W_a <u>46.836</u> W_b <u>39.283</u> W_b <u>39.283</u> W_c <u>23.841</u> W_w <u>7.553</u> W_s <u>15.482</u> $w =$ <u>48.912</u> %	$w =$ <u>49.009</u> %
No. <u>5</u> <u>2.0 m</u> <u>~ 2.5 m</u>	No. <u>261</u> W_a <u>40.399</u> W_b <u>33.655</u> W_b <u>33.655</u> W_c <u>24.091</u> W_b <u>6.739</u> W_s <u>9.564</u> $w =$ <u>70.862</u> %	No. <u>201</u> W_a <u>45.708</u> W_b <u>37.535</u> W_b <u>37.535</u> W_c <u>26.099</u> W_w <u>8.173</u> W_s <u>11.986</u> $w =$ <u>71.156</u> %	No. <u>380</u> W_a <u>46.688</u> W_b <u>38.182</u> W_b <u>38.182</u> W_c <u>25.925</u> W_w <u>8.506</u> W_s <u>12.187</u> $w =$ <u>69.796</u> %	$w =$ <u>70.971</u> %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	$w =$ _____ %
No. _____ _____ m ~ _____ m	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	No. _____ W_a _____ W_b _____ W_b _____ W_c _____ W_w _____ W_s _____ $w =$ _____ %	$w =$ _____ %

$$\text{含水比 } w = \frac{W_a - W_b}{W_b - W_c} \times 100 \%$$

$$= \frac{W_w}{W_s} \times 100 \%$$

W_a : 容器の重量 + 湿潤土, g W_w : 試料中の水の重量, g
 W_b : 容器の重量 + 乾燥土, g W_s : 乾燥土の重量, g
 W_c : 容器の重量, g

調査名・調査地点 みみ処理施設建設地地質調査

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

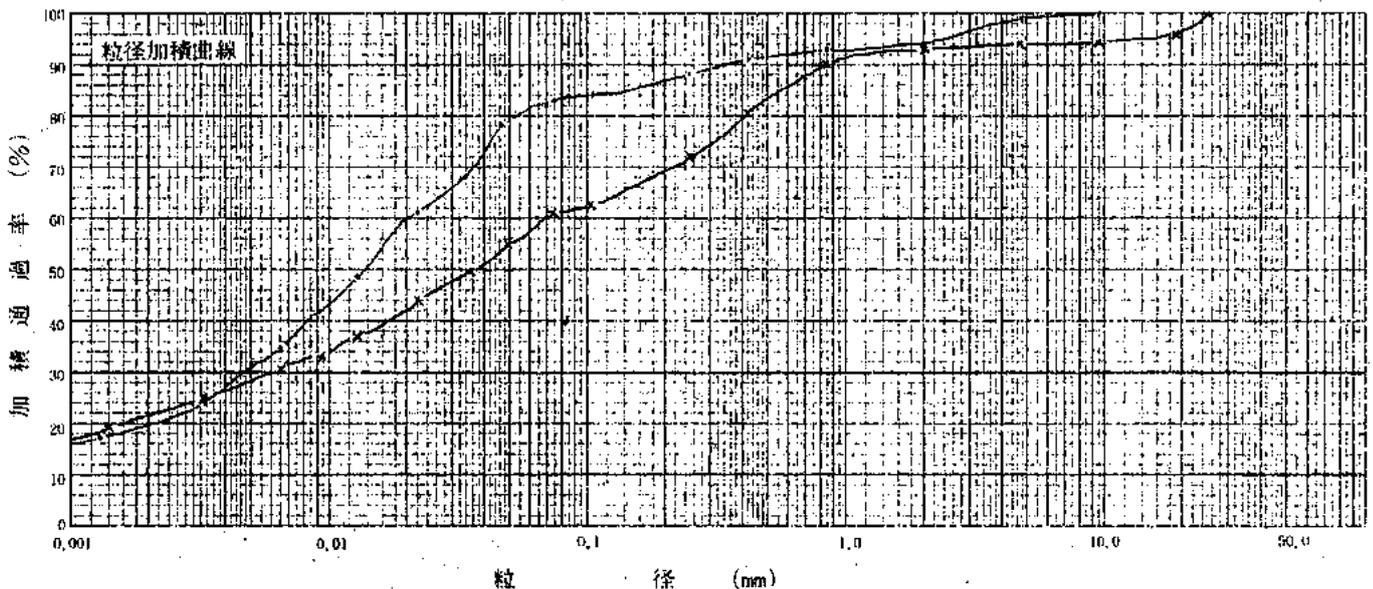
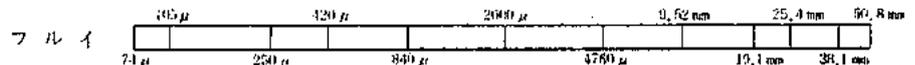
粒径加積曲線を図示するのに用いた粒径とその粒径より小さな土粒子重量の百分率との関係表

試料番号・深さ: No. 1 (0.3 m - 0.5 m) 比重 2.718

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%					100	99.99	99.91	99.29	91.00	88.21	84.19	83.93
比秤 ホウ の	粒径 mm	0.087	0.038	0.022	0.013	0.0092	0.0066	0.0033	0.0013				
	重量百分率%	78.32	68.02	61.92	49.47	42.05	38.63	28.92	17.42				

試料番号・深さ: No. 1 (2.0 m - 2.5 m) 比重 2.690

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%			100	96.16	94.77	94.40	93.86	90.32	80.72	72.36	62.85	61.31
比秤 ホウ の	粒径 mm	0.082	0.035	0.022	0.013	0.0093	0.0066	0.0033	0.0019				
	重量百分率%	55.37	49.91	44.99	27.16	22.51	20.97	25.19	19.67				



コロイド	粘土	シルト	砂	レ	キ
0.001	0.005	0.074	2.0		

試料番号 深さ	No. <u>1</u> <u>0.3 m - 0.5 m</u>	No. <u>1</u> <u>2.0 m - 2.5 m</u>	試料番号 深さ	No. <u>1</u> <u>0.3 m - 0.5 m</u>	No. <u>1</u> <u>2.0 m - 2.5 m</u>
4.76mm以上の粒子	0.56 %	5.60 %	最大粒径	9.52 mm	25.4 mm
4.76~2 mmの粒子	5.13 %	0.94 %	60 % 粒径	0.02 mm	0.07 mm
2~0.42 mmの粒子	3.31 %	12.74 %	30 % 粒径	0.0087 mm	0.006 mm
0.42~0.074mmの粒子	2.57 %	19.41 %	10 % 粒径	— mm	— mm
0.074~0.005mmのシルト分	52.93 %	23.31 %	均等係数		
0.005mm以下の粘土分	31.0 %	28.00 %	曲率係数		
0.001mm以下のコロイド分	16.0 %	17.00 %	フルイを通過する 試料の分散性		
2000μフルイ通過重量百分率	94.31 %	93.86 %	粗な土粒子の形状 および堅さ		
420μフルイ通過重量百分率	91.00 %	80.72 %			
74μフルイ通過重量百分率	83.83 %	61.31 %			

調査名・調査地点 ごみ処理施設建設地地質調査

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

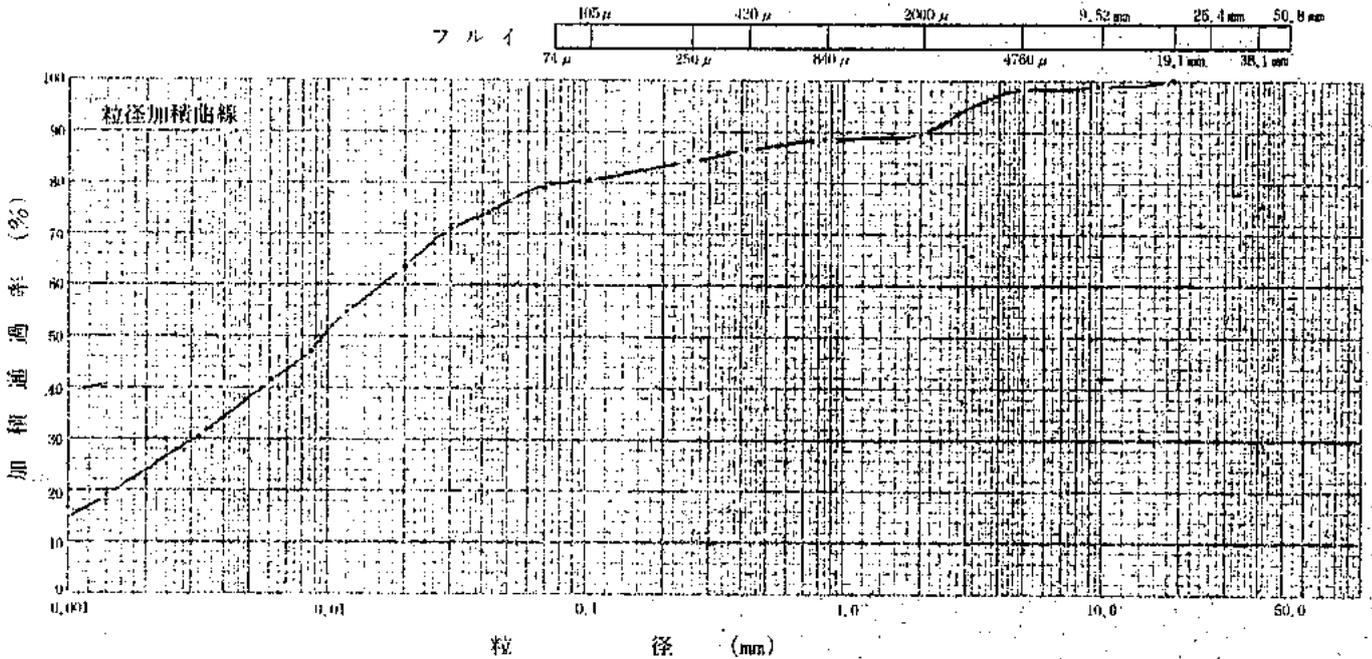
粒度加積曲線を図示するのに用いた粒径とその粒径より小さな土粒子重量の百分率との関係表

試料番号・深さ: No. 2 (0.3 m ~ 0.5 m) 比重 2.660

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%				100	99.59	98.60	89.70	88.69	86.67	84.49	80.67	79.98
比砂	粒径 mm	0.075	0.030	0.020	0.012	0.0086	0.0067	0.0032	0.0019				
重%	重量百分率%	72.66	70.97	69.81	52.70	27.10	21.67	30.60	19.37				

試料番号・深さ: No. (m ~ m) 比重

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%												
比砂	粒径 mm												
重%	重量百分率%												



粘土	シルト	砂	レキ
0.001	0.005	0.074	2.0

試料番号 深さ	No. <u>2</u> <u>0.3 m ~ 0.5 m</u>	No. <u> </u> <u> m ~ m</u>	試料番号 深さ	No. <u>2</u> <u>0.3 m ~ 0.5 m</u>	No. <u> </u> <u> m ~ m</u>
4.76mm以上の粒子	<u>1.20</u> %	%	最大粒径	<u>19.1</u> mm	mm
4.76~2 mmの粒子	<u>8.90</u> %	%	60% 粒径	<u>0.016</u> mm	mm
2~0.42 mmの粒子	<u>3.03</u> %	%	30% 粒径	<u>0.0031</u> mm	mm
0.42~0.074mmの粒子	<u>6.69</u> %	%	10% 粒径	—	mm
0.074~0.005mmのシルト分	<u>21.98</u> %	%	均等係数	—	
0.005mm以下の粘土分	<u>38.0</u> %	%	曲率係数	—	
0.001mm以下のコロイド分	<u>15.0</u> %	%	フルイを通過する 試料の分散性		
2000μフルイ通過重量百分率	<u>89.70</u> %	%	粗な土粒子の形状 および堅さ		
420μフルイ通過重量百分率	<u>86.67</u> %	%			
74μフルイ通過重量百分率	<u>79.98</u> %	%			

調査名・調査地点 水処理施設建設地地質調査

試験年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

試験者 九十九 宏

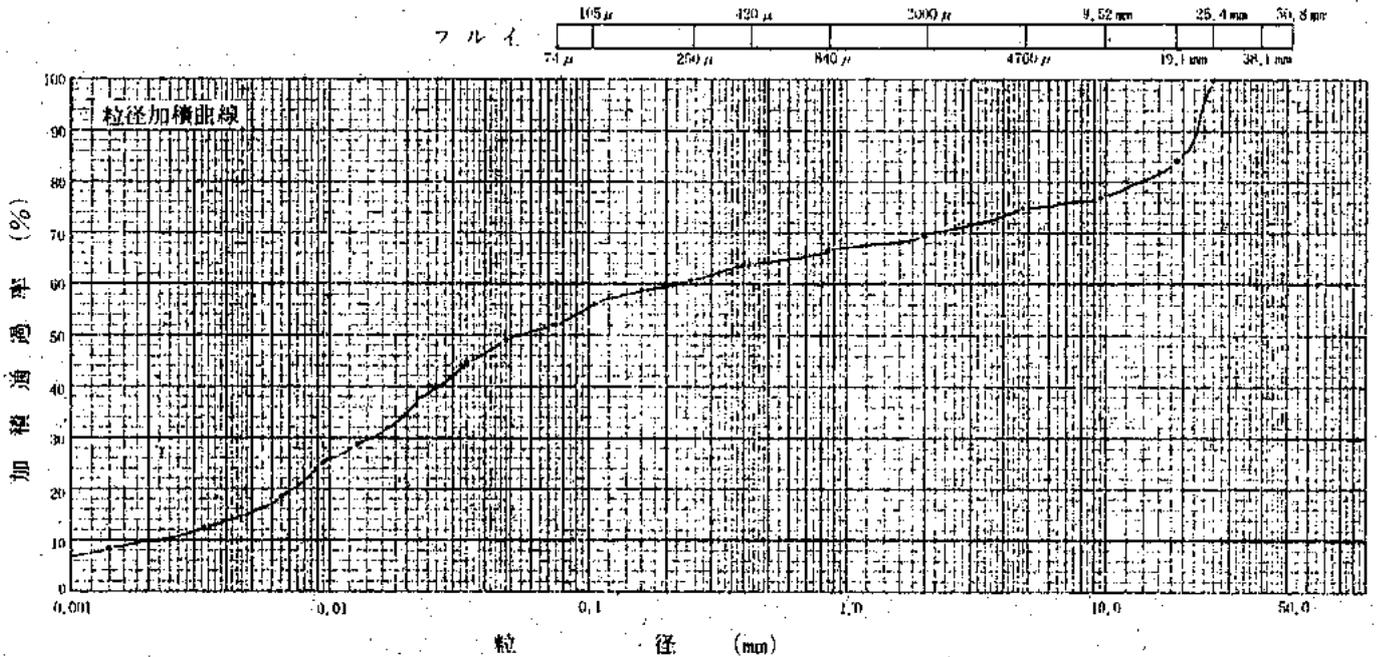
粒径加積曲線を図示するのに用いた粒径とその粒径より小さな土粒子重量の百分率との関係表

試料番号・深さ: No. 4 (0.3 m ~ 0.5 m) 比重 2.717

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%			100	84.40	77.25	75.61	69.89	66.67	63.88	60.94	56.10	52.26
比秤	粒径 mm	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075	0.075				
重量	重量百分率%	49.48	48.84	47.89	47.87	45.00	43.56	42.63	42.76				

試料番号・深さ: No. _____ (_____ m ~ _____ m) 比重 _____

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%												
比秤	粒径 mm												
重量	重量百分率%												



コロイド	粘 土	シルト	砂	レキ
0.001	0.005	0.074	2.0	

試料番号	No. <u>4</u>	No. _____	試料番号	No. <u>4</u>	No. _____
深さ	<u>0.3 m ~ 0.5 m</u>	<u>m ~ m</u>	深さ	<u>m ~ m</u>	<u>m ~ m</u>
4.76mm以上の粒子	<u>29.39</u> %	%	最大粒径	<u>25.4</u> mm	mm
4.76~2 mmの粒子	<u>57.2</u> %	%	60 % 粒径	<u>0.24</u> mm	mm
2~0.42 mmの粒子	<u>60.1</u> %	%	30 % 粒径	<u>0.015</u> mm	mm
0.42~0.074mmの粒子	<u>11.62</u> %	%	10 % 粒径	<u>0.0022</u> mm	mm
0.074~0.005mmのシルト分	<u>26.76</u> %	%	均等係数	<u>109.1</u>	
0.005mm以下の粘土分	<u>15.5</u> %	%	曲率係数	<u>0.93</u>	
0.001mm以下のコロイド分	<u>7.0</u> %	%	フルイを通過する		
2000μフルイ通過重量百分率	<u>69.89</u> %	%	試料の分散性		
420μフルイ通過重量百分率	<u>63.88</u> %	%	粗な土粒子の形状		
74μフルイ通過重量百分率	<u>52.26</u> %	%	および堅さ		

調査名・調査地点 ゴミ処理施設建設地地質調査

試験年月日 年 月 日

試験者 九十九 宏

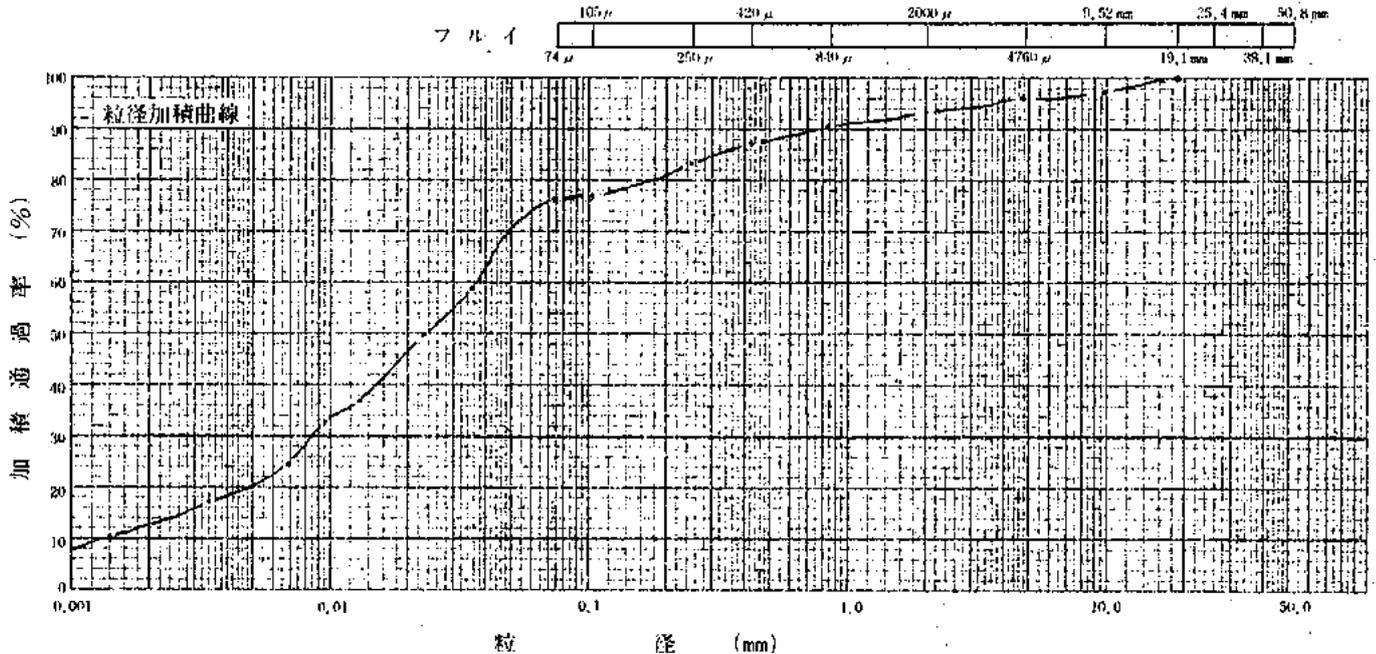
粒径加積曲線を図示するのに用いた粒径とその粒径より小さな土粒子重量の百分率との関係表

試料番号・深さ: No. 5 (0.3 m ~ 0.5 m) 比重 2.643

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%				100	97.69	96.03	93.61	90.82	87.59	83.67	77.37	76.29
比秤	粒径 mm	0.049	0.025	0.023	0.013	0.0095	0.0068	0.0039	0.0019				
重量	重量百分率%	20.30	58.85	88.86	96.78	92.70	78.52	12.17	10.22				

試料番号・深さ: No. (m ~ m) 比重

フルイ	粒径 mm	50.8	38.1	25.4	19.1	9.52	4.76	2.00	0.84	0.42	0.25	0.105	0.074
	重量百分率%												
比秤	粒径 mm												
重量	重量百分率%												



コロイド	粘 土	シルト	砂	レ	キ
0.001	0.005	0.074	2.0		

試料番号 深さ	No. <u>5</u> <u>0.3 m ~ 0.5 m</u>	No. <u> </u> <u>m ~ m</u>	試料番号 深さ	No. <u>5</u> <u>0.3 m ~ 0.5 m</u>	No. <u> </u> <u>m ~ m</u>
4.76mm以上の粒子	<u>2.97</u> %	%	最大粒径	<u>19.1</u> mm	mm
4.76 ~ 2 mmの粒子	<u>2.42</u> %	%	60 % 粒径	<u>0.037</u> mm	mm
2 ~ 0.42 mmの粒子	<u>6.02</u> %	%	30 % 粒径	<u>0.0085</u> mm	mm
0.42 ~ 0.074mmの粒子	<u>11.30</u> %	%	10 % 粒径	<u>0.0013</u> mm	mm
0.074 ~ 0.005mmのシルト分	<u>56.28</u> %	%	均等係数	<u>28.5</u>	
0.005mm以下の粘土分	<u>20.05</u> %	%	曲率係数	<u>1.50</u>	
0.001mm以下のコロイド分	<u>8.00</u> %	%	フルイを通過する 試料の分散性		
2000μフルイ通過重量百分率	<u>93.61</u> %	%	粗な土粒子の形状 および堅さ		
420μフルイ通過重量百分率	<u>87.59</u> %	%			
74μフルイ通過重量百分率	<u>76.29</u> %	%			



ごみ排出、処理実績量実績の経年変化

『一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」 平成 26 年 3 月 五島市』より抜粋

1. ごみ排出量

表 ごみの排出量の推移

項目	単位	H20	H21	H22	H23	H24
計画収集人口(*1)	人	43,950	43,074	42,380	41,673	41,003
年間ごみ排出量	t/年	14,288	14,413	14,500	15,013	14,888
1人1日当りの排出量	g/人・日	891	917	935	984	995
家庭系ごみ排出量(*2)	t/年	11,629	11,480	11,457	11,605	11,792
1人1日当りの排出量	g/人・日	725	730	741	761	788
事業系ごみ排出量(*2)	t/年	2,659	2,933	3,043	3,408	3,096
1人1日当りの排出量	g/人・日	166	187	197	223	207
1人1日当りの排出量(全国)	g/人・日	1,033	994	976	976	—
1人1日当りの排出量(長崎県)	g/人・日	965	949	945	944	—

(*1)：長崎県一般廃棄物処理実績調査基準日の9月30日とする。

(*2)：本市では収集ごみの量を家庭系ごみ、直接搬入ごみの量を事業系ごみ排出量として使用。

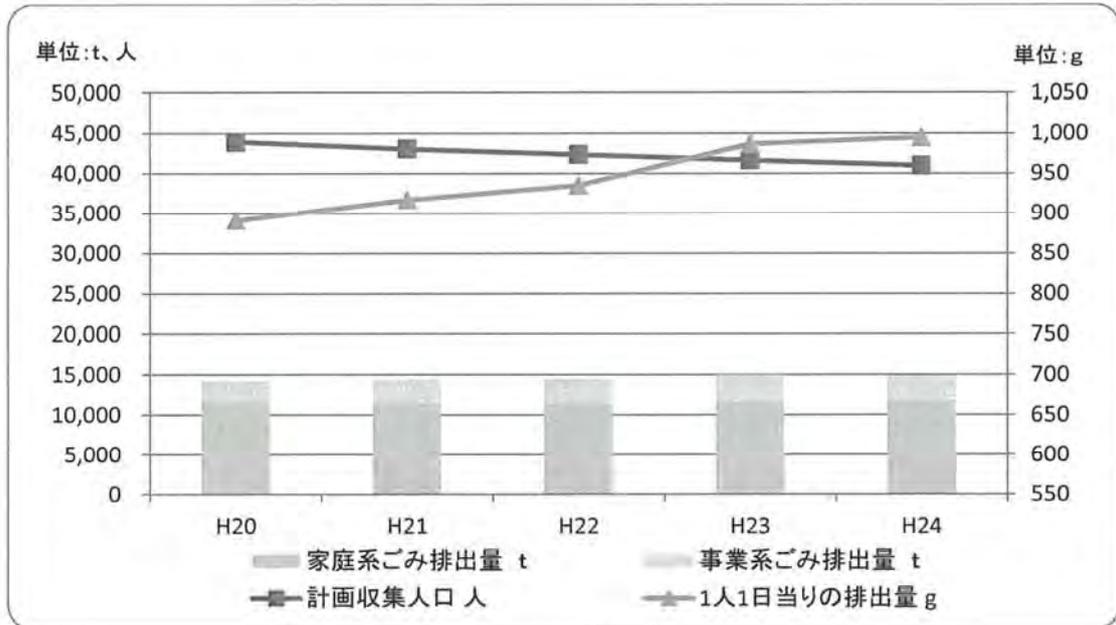


図 ごみの排出量の推移

2. 収集ごみ排出量

表 収集ごみ分別区分ごとの排出量の推移

項目	単位	H20	H21	H22	H23	H24
燃やすごみ	t/年	10,162	10,068	9,988	10,124	10,179
燃やせないごみ	t/年	328	335	367	165	127
資源ごみ	t/年	1,096	1,047	1,062	1,264	1,427
粗大ごみ	t/年	43	30	40	52	59
合計	t/年	11,629	11,480	11,457	11,605	11,792

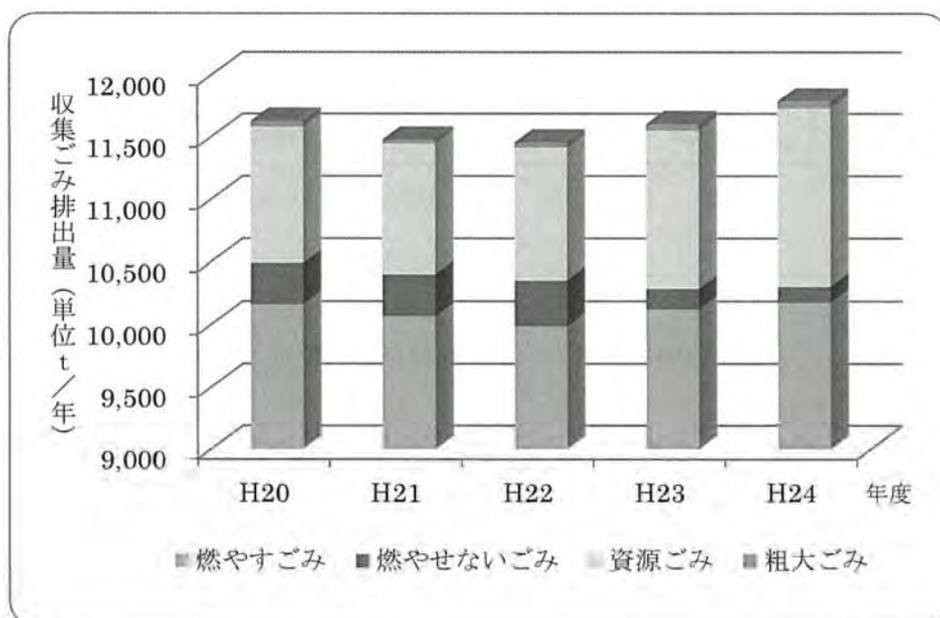


図 収集ごみ分別区分ごとの排出量の推移

3. 収集ごみ排出量

表 直接搬入ごみの排出量の推移

項目	単位	H20	H21	H22	H23	H24
直接搬入ごみ	t/年	2,659	2,933	3,043	3,408	3,096
合計	t/年	2,659	2,933	3,043	3,408	3,096

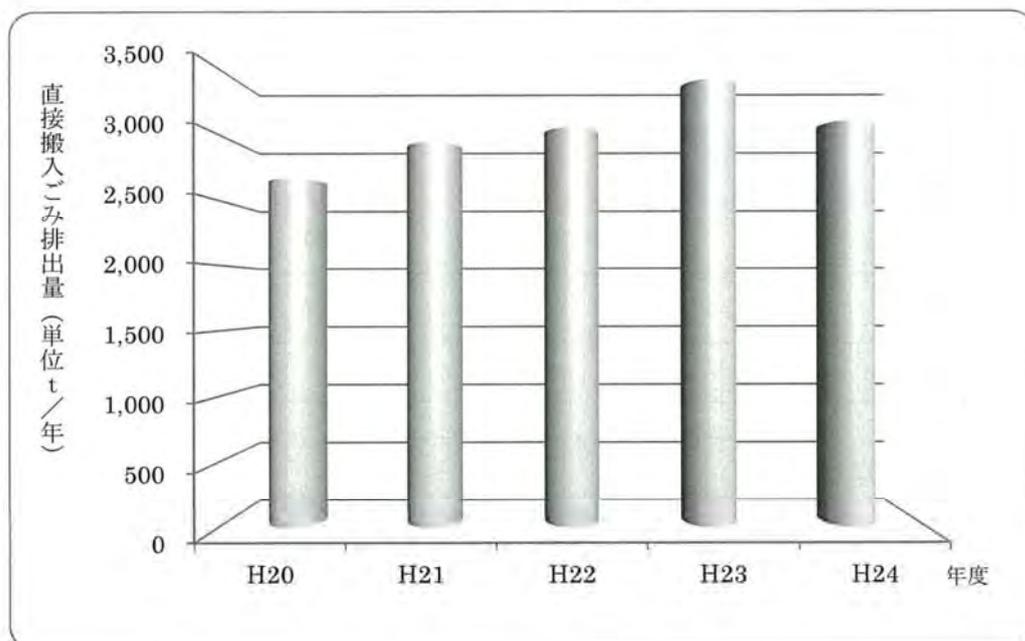


図 直接搬入ごみの排出量の推移 (単位：t/年)

4. ごみ処理実績

表 ごみ処理量の推移

項目	単位	H20	H21	H22	H23	H24
直接焼却量	t/年	12,416	12,524	12,479	12,849	12,909
リサイクルセンター等の処理残渣量	t/年	166	13	99	158	121
焼却以外の中間処理量	t/年	1,198	1,253	1,346	1,414	1,598
直接最終処分量	t/年	508	623	576	592	260
直接資源化量	t/年	0	0	0	0	0
合計	t/年	14,288	14,413	14,500	15,013	14,888

《項目の定義》

- 直接焼却量 : 焼却施設に直接収集・搬入される焼却量
- リサイクルセンター等の残渣量 : 焼却施設以外の中間処理施設で処理された後発生する可燃性ごみの量
- 焼却以外の中間処理量 : 焼却施設以外に中間処理される量
- 直接最終処分量 : 中間処理施設を経ず直接最終処分場に搬入される量
- 直接資源化量 : 資源化等を行う施設を経ず直接再生業者等に搬入される量

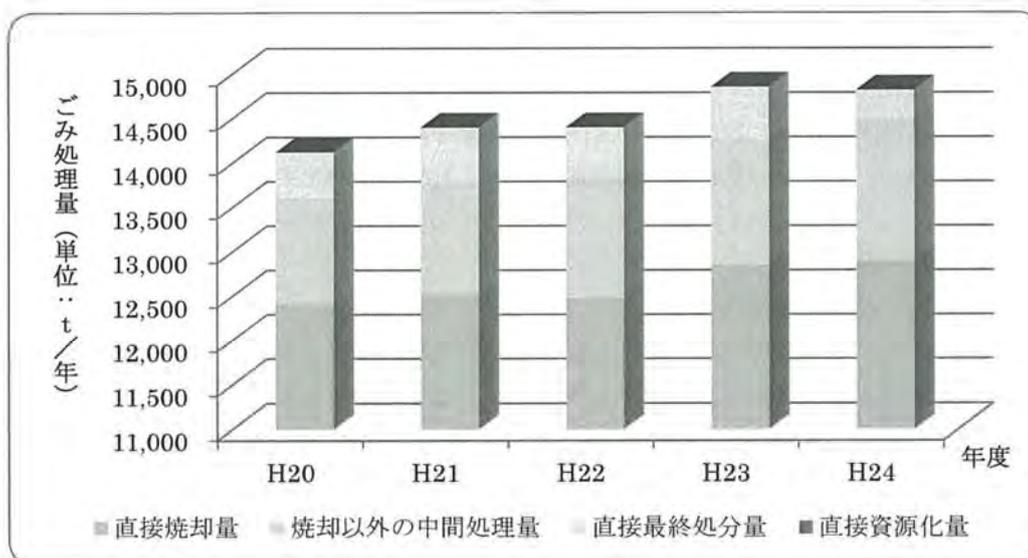


図 ごみ処理量の推移

計画ごみ処理量の経年変化

『ごみ処理施設整備基本計画 報告書 平成28年3月 長崎県五島市』より抜粋

1. 計画処理量の推移

表 2-1-1 年間焼却量と施設規模

区分	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40
年間焼却量	10,990	10,508	10,314	10,123	9,958	9,733	9,540	9,345	9,179	8,964
日平均処理量	30.1	28.8	28.3	27.7	27.3	28.7	26.1	25.6	25.1	24.6
整備規模	41	40	39	38	38	37	36	35	35	34

(年間焼却量：t/年、それ以外はt/日)

2. 計画処理対象物と計画処理量の整理

表 2-1-2 計画対象物と計画処理量

計画対象物	計画処理量 (t/年) ※計画年次 (H31)
直接焼却量	10,365
可燃残渣 (リサイクルセンターからの可燃残渣)	125
脱水し渣	23
脱水汚泥	477
計	10,990

ごみ質分析結果
『一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」 平成26年3月 五島市』より抜粋

1. 福江清掃センター、富江クリーンセンター、奈留清掃センターの搬入時ごみ質分析結果（平成20～24年度）

項目	試料採取年月日		平均値																平均		
	1回目	2回目	1回目	2回目	3回目	4回目															
単位容積重量	263.33	190.00	176.67	220.00	215.00	237.67	238.33	239.67	266.67	273.33	260.00	280.00	138.33	105.33	136.33	164.33	161.33	181.67	211.33	215.67	208.75
紙・布類	55.53	56.57	57.37	45.57	56.80	44.50	55.70	46.33	54.60	72.77	63.87	61.57	54.94	63.41	56.18	43.23	46.73	39.07	53.83	55.27	54.2
ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類	19.20	18.57	16.67	15.70	18.83	21.63	16.63	12.57	22.83	16.97	19.50	25.97	22.30	18.27	19.05	23.56	23.43	23.93	15.57	18.33	19.5
木・竹・ワラ類	9.23	4.03	5.93	3.10	6.80	7.33	6.80	5.97	5.77	2.80	6.17	1.63	9.62	8.85	2.34	4.92	15.87	10.47	9.90	7.23	6.7
厨芥類（生ごみ）	12.37	14.33	12.23	31.40	11.63	20.87	13.83	26.47	8.93	1.23	4.70	3.60	7.57	1.94	20.94	18.35	7.83	13.50	15.87	11.63	13.0
不燃物類	0.43	1.00	2.30	0.20	1.63	1.37	2.70	2.47	2.67	0.37	1.03	4.00	4.04	6.58	1.40	9.89	2.93	6.57	2.17	4.93	2.9
その他	3.23	5.50	5.53	4.10	4.30	4.30	4.33	6.20	5.20	5.87	4.73	3.23	1.53	0.94	0.09	0.06	3.20	6.47	2.67	2.60	3.7
水分	55.63	55.97	54.50	54.03	52.73	56.13	58.70	52.73	47.17	43.10	44.60	32.33	42.42	32.01	54.96	52.01	47.23	48.27	47.77	51.13	49.2
可燃分	40.40	39.63	38.40	41.30	40.33	38.47	36.17	41.97	46.63	50.97	50.30	59.13	50.57	57.92	40.58	38.48	46.43	41.03	44.67	41.57	44.2
低位発熱量（実測値）	8,193	8,347	7,237	8,283	4,331	4,891	3,546	5,379	9,607	9,517	9,600	12,800	9,800	11,010	6,813	6,213	9,030	8,060	8,140	7,750	7,927

2. 福江清掃センターの搬入時ごみ質分析結果（平成20～24年度）

項目	試料採取年月日												平均								
	平成20年 6月25日	平成20年 9月25日	平成20年 12月25日	平成21年 3月11日	平成21年 6月16日	平成21年 9月14日	平成21年 12月21日	平成22年 2月25日	平成22年 6月21日	平成22年 8月30日	平成22年 12月24日	平成23年 2月21日		平成23年 6月1日	平成23年 9月13日	平成23年 12月19日	平成24年 2月15日	平成24年 5月22日	平成24年 7月31日	平成24年 10月24日	平成25年 1月21日
単位容積重量	kg/m ³	260.00	180.00	170.00	220.00	184.00	273.00	217.00	220.00	270.00	270.00	300.00	131.00	93.00	143.00	131.00	165.00	152.00	215.00	262.00	206.30
紙・布類	%	59.00	63.70	60.60	43.50	58.50	41.10	54.90	46.60	67.30	67.30	59.40	62.95	53.51	66.97	53.81	35.60	34.30	44.20	59.70	54.4
ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類	%	19.30	17.50	14.00	19.80	19.40	19.00	19.60	19.60	14.70	19.50	24.40	26.34	17.45	21.68	26.91	32.40	29.00	13.70	16.60	20.4
木・竹・ワラ類	%	4.80	2.30	7.00	4.00	11.10	8.30	5.90	4.10	2.90	1.90	2.60	2.43	13.05	4.44	12.42	13.20	8.10	20.00	3.60	7.2
厨芥類	%	13.70	10.10	11.40	27.10	6.00	25.00	9.80	24.30	8.20	0.00	3.40	5.21	2.45	5.76	3.58	12.00	12.50	15.80	16.30	10.8
不燃物類	%	0.00	0.50	0.10	0.30	1.80	2.40	6.50	3.40	6.90	0.60	3.80	1.99	13.55	1.09	3.22	2.40	3.20	1.80	1.80	2.8
その他	%	3.20	5.90	6.80	5.40	3.20	4.20	3.30	2.00	5.70	10.70	6.40	1.08	0.00	0.06	0.07	4.40	12.90	4.50	2.00	4.3
水分	%	51.90	54.20	59.70	57.70	46.40	55.20	60.30	41.30	53.20	52.70	42.90	38.43	32.78	51.58	47.24	49.50	45.50	48.10	50.10	48.9
灰分	%									6.80	7.20	5.30	5.71	14.32	5.83	7.98	6.00	12.10	7.00	7.10	
可燃分	%	43.40	40.10	34.50	36.60	43.60	38.50	34.30	52.50	40.10	40.10	51.80	55.86	52.90	42.59	44.78	44.50	42.40	44.90	42.80	43.8
水分分（乾燥ベース実測値）	%									8.40	7.80	7.50					8.00	6.2	6.2	6.87	
総発熱量（乾燥ベース実測値）	kJ/kg																24,010	18,310	19,290	19,570	
高位発熱量	kJ/kg									9,900	9,200	11,800	12,200				11,830	9,660	9,830	9,590	
低位発熱量（実測値）	kJ/kg	8,500	9,600	6,560	7,270	6,699	6,280	5,485	9,043	7,800	7,170	9,870	12,330	9,690	7,210	8,900	9,710	7,770	7,900	7,560	8282.4
低位発熱量（計算値）	kJ/kg	6,870	6,190	5,000	5,450	7,034	5,862	4,940	8,834				9,560	9,140	6,730	7,250	9,490	9,070	8,260	7,990	
天候		曇	曇	晴	晴	晴	晴	曇	雨	曇	晴	晴					晴	晴	晴	曇/雨	
気温	℃	23.1				27.0	26.0	8.0	18.7	28.0	34.0	10.0	16.0				28.0	28.0	24.0	9.0	

3. 富江クリーンセンターの搬入時ごみ質分析結果 (平成20～24年度)

項目	試料採取年月日												平均											
	平成20年 6月25日	平成20年 9月25日	平成20年 12月25日	平成21年 3月11日	平成21年 6月17日	平成21年 9月14日	平成21年 12月22日	平成22年 2月24日	平成22年 6月23日	平成22年 8月30日	平成22年 12月20日	平成23年 2月21日		平成23年 6月2日	平成23年 9月13日	平成23年 12月13日	平成24年 2月15日	平成24年 5月23日	平成24年 8月2日	平成24年 10月25日	平成25年 1月23日			
ごみの種類組成	単位容積重量	kg/m ³	300.00	190.00	190.00	220.00	224.00	173.00	244.00	202.00	270.00	290.00	240.00	280.00	135.00	100.00	133.00	158.00	179.00	130.00	182.00	195.00	201.70	
	紙・布類	%	40.70	57.80	54.50	35.20	50.30	56.10	47.20	59.30	55.10	81.40	62.30	67.80	49.07	63.43	48.42	40.10	54.40	42.30	70.50	52.10	54.40	
	ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類	%	17.10	16.90	19.40	11.50	18.10	23.40	13.50	12.50	29.40	13.00	23.90	23.90	27.10	23.08	17.90	19.75	23.55	21.60	32.70	14.20	17.80	19.82
	木・竹・ワラ類	%	21.20	4.20	4.20	2.20	4.20	2.80	7.70	4.60	2.50	1.40	1.10	0.70	4.58	9.59	0.40	1.12	7.60	8.20	3.90	4.10	4.81	
	厨芥類	%	17.70	16.70	10.70	48.50	20.90	15.90	26.50	17.10	9.70	2.80	6.30	6.30	3.30	10.51	1.97	28.72	30.16	7.20	3.10	8.50	13.20	14.97
	不燃物類	%	0.00	0.80	6.40	0.00	2.30	0.90	0.60	2.60	0.40	0.00	1.80	1.80	0.40	9.45	5.75	2.57	5.00	5.20	11.70	1.80	9.50	3.36
	その他	%	3.30	3.60	4.90	2.60	4.20	0.90	4.50	3.90	2.90	1.40	4.60	4.60	0.70	3.32	1.37	0.13	0.07	4.00	2.00	1.10	3.30	2.64
	水分	%	59.60	57.80	53.60	49.40	57.80	53.50	61.30	55.30	47.30	37.40	43.90	43.90	26.70	50.30	28.72	62.49	57.13	53.40	49.70	48.40	58.60	50.62
	灰分	%									5.80	4.90	5.00	5.00	5.60	8.26	7.05	3.49	5.22	7.90	10.30	7.50	7.30	
	可燃分	%	36.00	39.10	34.90	44.90	37.10	42.50	34.60	39.80	46.90	57.70	51.10	51.10	67.70	41.44	64.23	34.02	37.65	38.70	40.00	44.10	34.10	43.33
理化学的性状	水分 (乾物ベース実測値)	%								8.70	7.60	8.60	8.60	8.00					6.6	8.8	6.33	7.58		
	総発熱量 (乾物ベース実測値)	kJ/kg																	19,990	26,210	19,920	21,790		
	高位発熱量	kJ/kg								12,000	11,900	12,200	12,200	16,600					8,830	11,640	10,090	8,160		
	低位発熱量 (実測値)	kJ/kg	7,090	7,060	6,050	9,690	4,815	7,034	3,643	5,903	9,920	9,980	10,100	14,800	6,820	11,720	4,630	5,970	6,840	9,510	8,150	6,060	7,789	
低位発熱量 (計算値)	kJ/kg	5,280	5,910	5,220	7,210	5,527	6,657	4,982	6,113					6,540	11,380	4,840	5,660	7,380	8,670	8,150	6,010			
採取条件	天候		曇	曇	晴	晴	晴	晴	晴	曇	晴	晴	晴	晴					晴	晴	晴	曇		
	気温	℃	22.4				28.0	26.0	12.0	20.5	29.0	31.0	16.0	16.0					25.5	33.0	22.0	10.0		

4. 奈留清掃センターの搬入時ごみ質分析結果（平成20～24年度）

項目	試料採取年月日												平均										
	平成20年 6月26日	平成20年 9月24日	平成20年 12月24日	平成21年 3月10日	平成21年 6月23日	平成21年 10月23日	平成21年 12月21日	平成22年 2月18日	平成22年 6月25日	平成22年 8月30日	平成22年 12月21日	平成23年 2月14日		平成23年 5月23日	平成23年 10月25日	平成24年 1月21日	平成25年 2月4日						
単位容積重量	kg/m ³	230.00	200.00	170.00	220.00	237.00	268.00	254.00	297.00	260.00	260.00	270.00	260.00	149.00	123.00	133.00	204.00	140.00	263.00	237.00	190.00	218.25	
ごみの種類組成	紙・布類	%	66.90	48.20	57.00	58.00	61.60	65.00	33.10	47.10	69.60	68.40	57.50	52.80	73.30	53.15	35.78	50.20	40.60	46.80	54.00	53.8	
	ビニール、合成樹脂、ゴム、皮革類	%	21.20	21.30	16.60	15.80	19.00	22.50	16.80	5.60	18.40	16.90	26.40	17.47	19.46	15.72	20.22	16.30	10.10	18.80	20.60	18.2	
	木・竹・ワラ類	%	1.70	5.60	6.60	3.10	5.10	10.90	6.80	9.20	5.10	4.60	4.60	1.60	21.86	3.92	2.17	1.21	26.80	15.10	5.80	14.00	8.2
	厨芥類	%	5.70	16.20	14.60	18.60	8.00	21.70	5.20	38.00	0.90	4.60	4.60	4.10	6.99	1.41	28.35	21.30	4.30	24.90	23.30	5.40	13.1
	不燃物類	%	1.30	1.70	0.40	0.30	0.80	0.80	1.00	1.40	0.70	0.50	0.90	7.80	0.68	0.44	0.54	21.45	1.20	4.80	2.90	3.50	2.7
	その他	%	3.20	7.00	4.90	4.30	5.50	7.80	5.20	12.70	7.00	5.50	4.60	2.60	0.19	1.46	0.07	0.04	1.20	4.50	2.40	2.50	4.1
	水分	%	55.40	55.90	50.20	55.00	54.00	59.70	54.50	61.60	41.00	39.20	47.00	31.30	38.54	34.53	50.82	51.65	38.80	49.60	46.80	44.70	48.0
	灰分	%									6.00	5.70	5.00	9.60	7.06	8.83	4.06	15.34	5.10	9.70	8.20	7.50	
	可燃分	%	41.80	39.70	45.80	42.40	40.30	34.40	39.60	33.60	53.00	55.10	48.00	59.10	54.40	56.64	45.12	33.01	56.10	40.70	45.00	47.80	45.6
	水素分（乾物ベース実測値）	%																	6.6	6.3	6.73	7.03	
総発熱量（乾物ベース実測値）	kJ/kg																	20,540	18,390	20,010	21,240		
高位発熱量	kJ/kg								13,100	13,400	10,800	15,100						12,420	8,820	10,340	11,340		
低位発熱量（実測値）	kJ/kg	8,990	8,380	9,100	7,890	1,480	1,360	1,510	1,190	11,100	11,400	8,830	13,300	10,250	11,620	8,600	3,770	10,540	6,900	8,370	9,630	7,711	
低位発熱量（計算値）	kJ/kg	6,480	6,070	7,370	6,600	1,490	1,190	1,450	1,140					9,280	9,800	7,220	4,920	11,030	7,150	8,720	9,510		
天候		曇	曇	雨	曇	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴					曇	晴	曇/雨	曇		
気温	℃	25.0				26.2	21.9	8.0	11.0	25.0	34.0	14.0	16.0					21.8	21.0	9.0	16.0		

ごみ搬入車両実績

1. 福江清掃センターのごみ搬入車両実績（平成 27 年度）

27年度					
ごみ 受 入 量					
月	台数	収集車(t)	台数	一般車(t)	合計(T/D)
4	404	827.38	1550	205.435	1032.815
5	408	843.4	1554	183.68	1027.08
6	450	827.695	1587	200.545	1028.24
7	422	850.39	1975	241.81	1092.2
8	442	889.42	1940	220.97	1110.39
9	430	788.43	1693	207.83	996.26
10	444	796.94	1641	194.94	991.88
11	388	722.56	1450	188.52	911.08
12	451	845.96	1966	225.54	1071.5
1	374	737.4	1141	137.215	874.615
2	395	732.01	1281	150.09	882.1
3	428	821.17	1573	199.28	1020.45
合計	5036	9682.755	19351	2355.855	12038.610

2. 富江クリーンセンターのごみ搬入車両実績（平成 26 年度）

26年度					
ごみ 受 入 量					
月	台数	収集車(t)	台数	一般車(t)	合計(T/D)
4	71	130.18	479	24.89	155.07
5	72	126.82	528	30.96	157.78
6	67	124.94	412	23.28	148.22
7	60	97.85	478	30.46	128.31
8	59	110.7	531	40.4	151.1
9	65	108.45	463	32.75	141.2
10	65	102.95	503	36.14	139.09
11	65	108.78	458	43	151.78
12	70	109.61	651	39.74	149.35
1	55	84.76	380	24.85	109.61
2	48	77.88	247	17.06	94.94
3	94	175.01	452	38.57	213.58
合計	791	1357.930	5582	382.100	1740.030

ごみの出し方

『一般廃棄物処理基本計画「ごみ処理基本計画」 平成26年3月 五島市』より抜粋

1. 家庭系ごみの出し方

表 家庭系ごみの出し方

分別の種類	出し方	備考
燃やすごみ	市の指定袋(白)	(*1)
燃やせないごみ	市の指定袋(青)	
有害ごみ	無指定の透明袋	(*2)
資源ごみ1	無指定の透明袋	
資源ごみ2	無指定の透明袋	
資源ごみ3	紙類：ひもでしばる 布類：無指定の透明袋	
資源ごみ4	無指定の透明袋	
粗大ごみ	市が発行するシールを貼る (電話で予約)	(*3)

(*1) 市の指定袋の値段

- 大(10枚入) 400円
- 中(10枚入) 200円
- 小(10枚入) 100円

(*2) 有害ごみ、資源ごみ1、資源ごみ2、資源ごみ3、資源ごみ4

有害ごみ・資源ごみは、無指定の透明袋に入れてそれぞれ収集日にごみステーションに出す。なお、段ボール、本、チラシ、新聞紙、紙パックは、晴天時はそれぞれ別々にひもで十字にしばって出す。雨天時には、次の収集日に出すか、それぞれ別々にしばった後、透明袋に入れて出す。

(*3) 粗大ごみ

粗大ごみは、予約制とし次の手順を守る。

- 1 粗大ごみ収集の予約をする。
- 2 予約番号、収集予定日、料金の確認を行う。
- 3 料金を確認した後、指定ごみ袋販売店で粗大ごみ処理券(シール)を購入する。
- 4 粗大ごみ処理券(シール)に先に電話で確認した予約番号、収集予定日、氏名を記入し、粗大ごみに貼り付ける。
- 5 収集予定日に、予約時に指定した場所に出す。

2. 事業系ごみの出し方

表 事業系ごみの出し方

分別の種類	収集・運搬方法	出し方
燃やすごみ	①自己搬入	①指定袋で搬入→無料（計量のみ） ②指定袋なし→10kg まで毎に 40 円
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定
資源ごみ 1	①自己搬入	透明袋にいれてもいれなくてもよい
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定
資源ごみ 2	①自己搬入	透明袋にいれてもいれなくてもよい
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定
資源ごみ 3	①自己搬入	ひもで縛っても縛らなくても、袋にいれてもいれなくてもよい
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定
資源ごみ 4	①自己搬入	透明袋にいれてもいれなくてもよい
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定
可燃粗大ごみ	① 自己搬入	①シールを貼る→無料（計量のみ） ②シールを貼らない→（現場で徴集：300 円又は 600 円
	②許可業者と契約	許可業者と契約し、料金決定

※奈留支所管内については、一部取扱いが異なる。

水質検査成績書

第 CC60600300-001 号

平成 28 年 6 月 29 日

水道水水質検査機関 厚生労働省登録第126号

五島市長 野口 市太郎 様

株式会社 静環検査センター

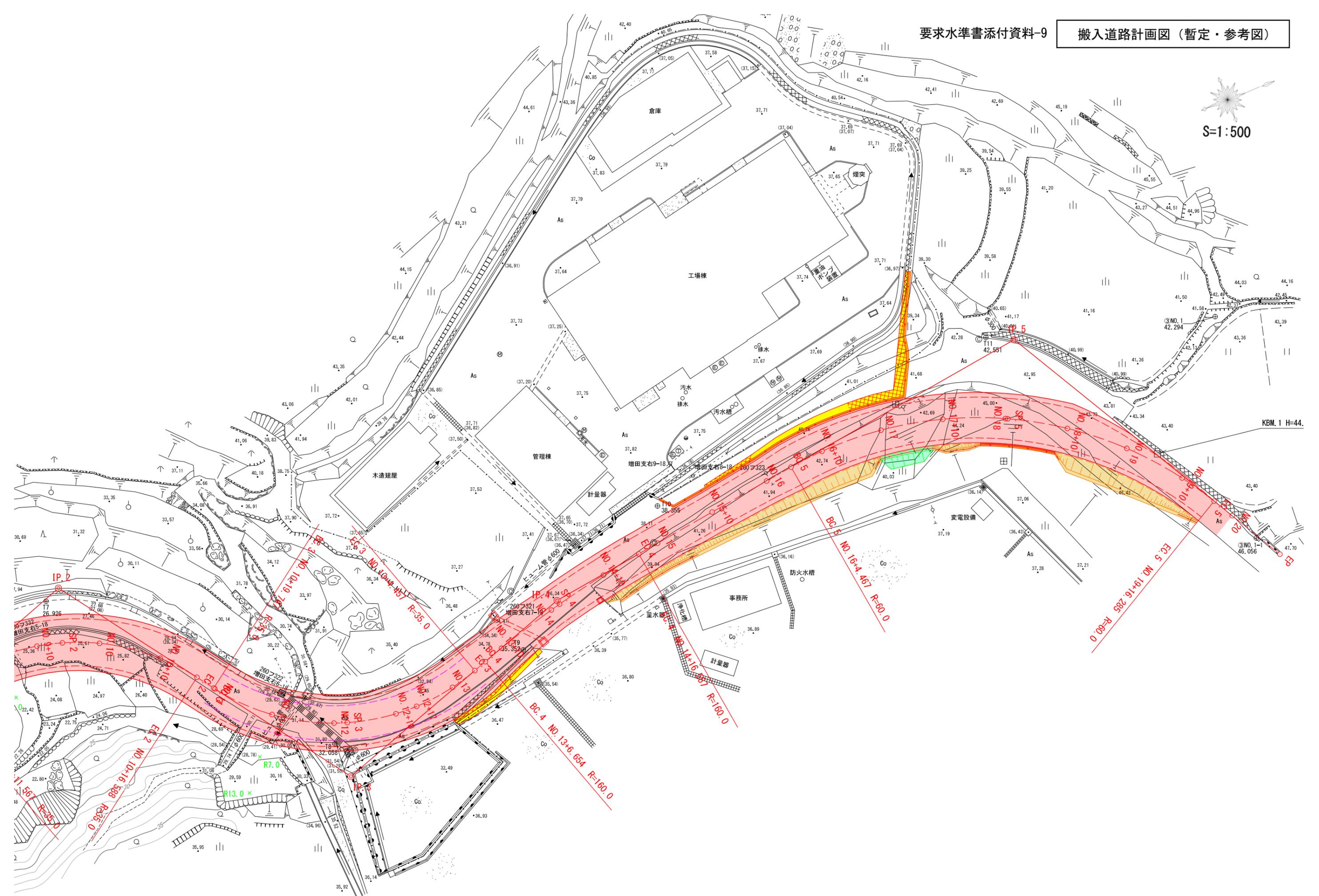
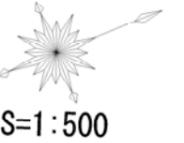
代表取締役 徳田 茂

〒899-6116 鹿児島県霧島市華人町内字中原2265番地7

TEL : 0995-43-8501 FAX : 0995-43-6475

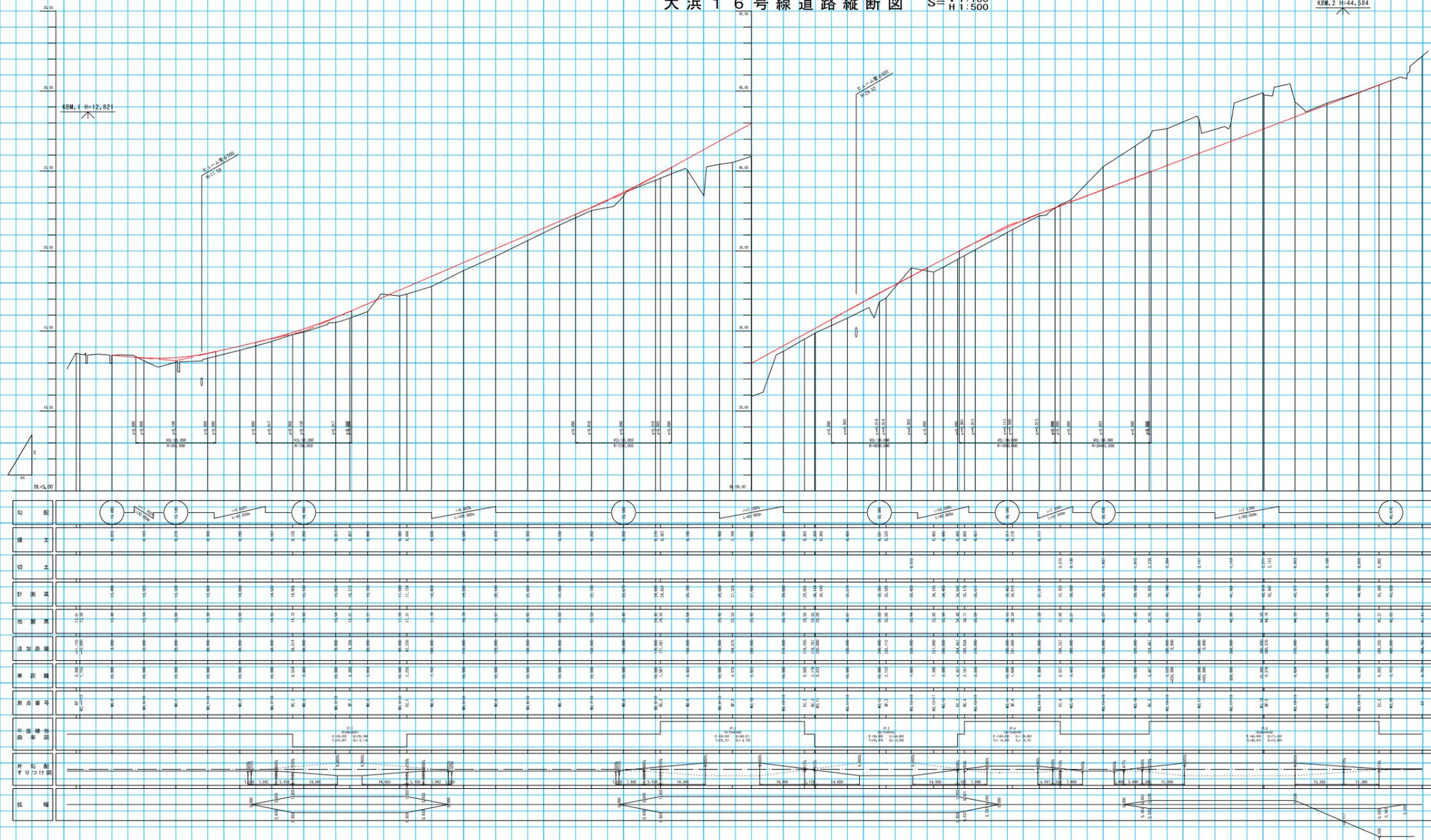
平成28年6月20日 ご依頼を受けました
検査結果は以下のとおりです。

施設名	旧福江清掃センター						
採水場所	旧福江清掃センター		検水の種類	井戸水			
受付方法	採取		水温	17.2	℃	気温	23.5
採水年月日	平成28年6月20日 16時02分		天候	前日	曇	当日	雨
採水者	小野 時春		残留塩素(参考値)	***			
水質検査部門管理者	石澤 勝己		検査方法	平成15年厚生労働省告示第261号			
項目	単位	結果	基準値	項目	単位	結果	基準値
一般細菌	/ml	300以上	100以下	総トリハロメタン	ng/L	0.01 未満	0.1ng/L以下
大腸菌		検出されない	検出されないこと	トリクロロ酢酸	ng/L	0.003 未満	0.03ng/L以下
カドミウム及びその化合物	ng/L	0.0003 未満	0.003ng/L以下	プロモジクロロメタン	ng/L	0.003 未満	0.03ng/L以下
水銀及びその化合物	ng/L	0.00005 未満	0.0005ng/L以下	プロモホルム	ng/L	0.009 未満	0.09ng/L以下
セレン及びその化合物	ng/L	0.002	0.01ng/L以下	ホルムアルデヒド	ng/L	0.008 未満	0.08ng/L以下
鉛及びその化合物	ng/L	0.001 未満	0.01ng/L以下	亜鉛及びその化合物	ng/L	0.01	1.0ng/L以下
ヒ素及びその化合物	ng/L	0.001 未満	0.01ng/L以下	アルミニウム及びその化合物	ng/L	0.02 未満	0.2ng/L以下
六価クロム化合物	ng/L	0.005 未満	0.05ng/L以下	鉄及びその化合物	ng/L	* 1.8	0.3ng/L以下
亜硝酸態窒素	ng/L	0.004 未満	0.04ng/L以下	銅及びその化合物	ng/L	0.02 未満	1.0ng/L以下
シアン化物イオン及び塩化シアン	ng/L	0.001 未満	0.01ng/L以下	ナトリウム及びその化合物	mg/L	17	200mg/L以下
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.5	10mg/L以下	マンガン及びその化合物	mg/L	0.014	0.05mg/L以下
フッ素及びその化合物	mg/L	0.08	0.8mg/L以下	塩化物イオン	mg/L	17	200mg/L以下
ホウ素及びその化合物	mg/L	0.1 未満	1.0mg/L以下	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	96	300mg/L以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002 未満	0.002ng/L以下	蒸発残留物	mg/L	170	500mg/L以下
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005 未満	0.05ng/L以下	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02 未満	0.2mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン及びトリス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004 未満	0.04ng/L以下	ジエオスミン	ng/L	0.000001未満	0.00001ng/L以下
ジクロロメタン	mg/L	0.002 未満	0.02ng/L以下	2-メチルイソボルネオール	ng/L	0.000001未満	0.00001ng/L以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005 未満	0.01ng/L以下	非イオン界面活性剤	mg/L	0.002 未満	0.02mg/L以下
トリクロロエチレン	mg/L	0.001 未満	0.01ng/L以下	フェノール類	ng/L	0.0005 未満	0.005ng/L以下
ベンゼン	mg/L	0.001 未満	0.01ng/L以下	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.3 未満	3mg/L以下
塩素酸	mg/L	0.06 未満	0.6ng/L以下	pH値		7.0	5.8以上8.6以下
クロロ酢酸	mg/L	0.002 未満	0.02ng/L以下	味		***	異常でないこと
クロロホルム	mg/L	0.006 未満	0.06ng/L以下	臭気		異常なし	異常でないこと
ジクロロ酢酸	mg/L	0.003 未満	0.03ng/L以下	色度	度	0.9	5度以下
ジブロモクロロメタン	mg/L	0.01 未満	0.1ng/L以下	濁度	度	* 4.7	2度以下
臭素酸	mg/L	0.001 未満	0.01ng/L以下			- 以下余白 -	
判定	上記水質項目については水質基準に 不適合 である						
備考	*検査の結果、基準値を超過した項目があったため「味」の検査を省略しました。						



大浜16号線道路縦断図 S=V1:100
H1:500

KBR.2 H=44.584

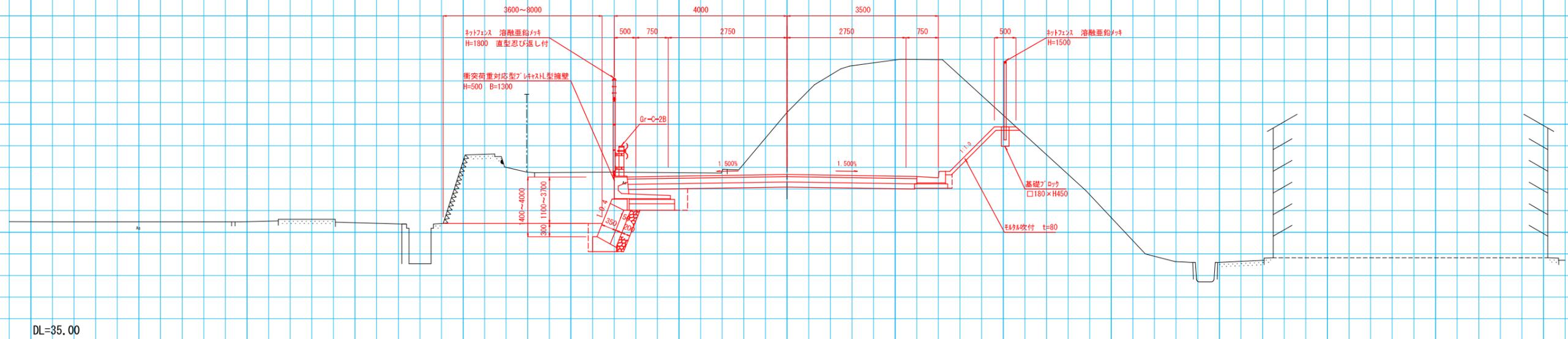


年度	平成28年度
工事名	大浜16号線道路測量業務
施行地	五島市高野地内
図面種類	縦断図
縮尺	V=1:100 H=1:500
図面番号	巻
製	栗 氏 藤 氏 政 計 製 図
所属	長崎県五島市

標準断面図

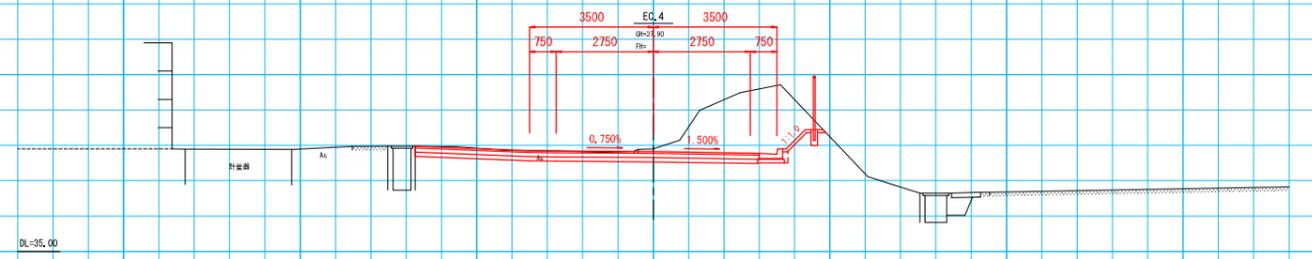
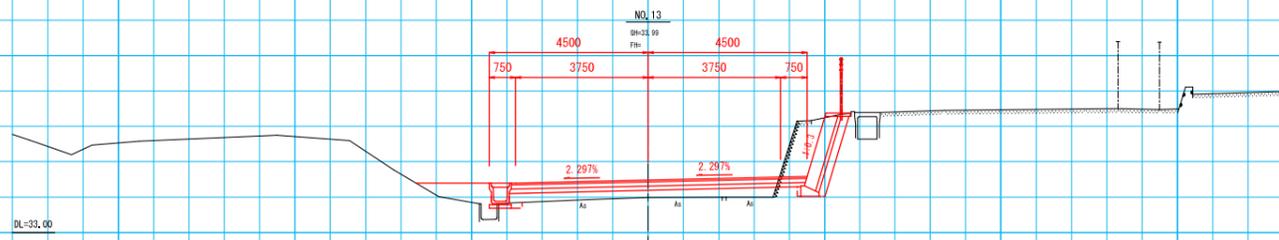
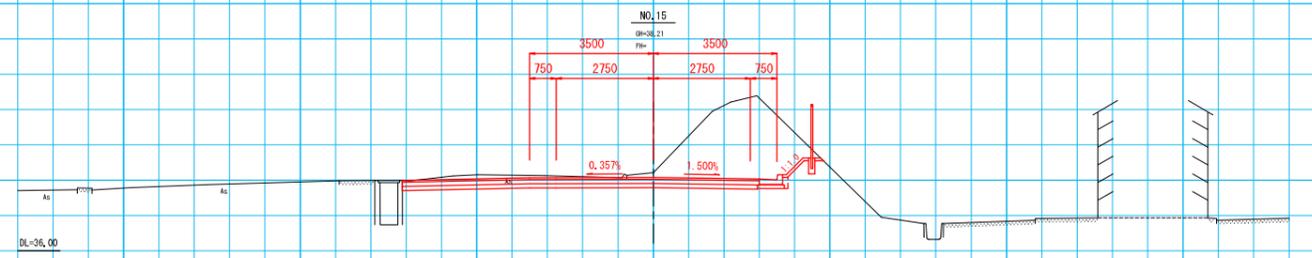
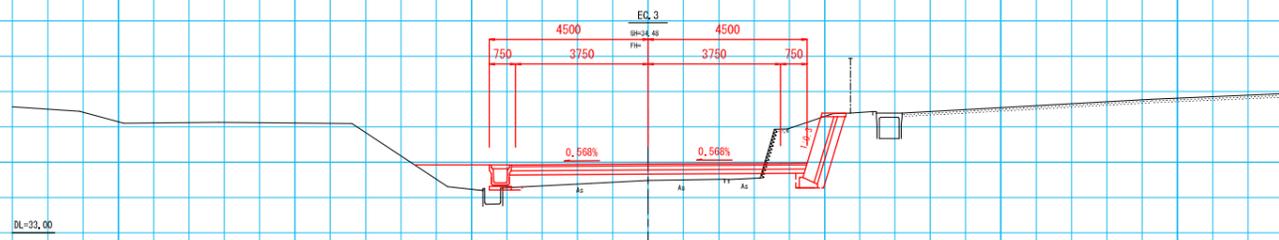
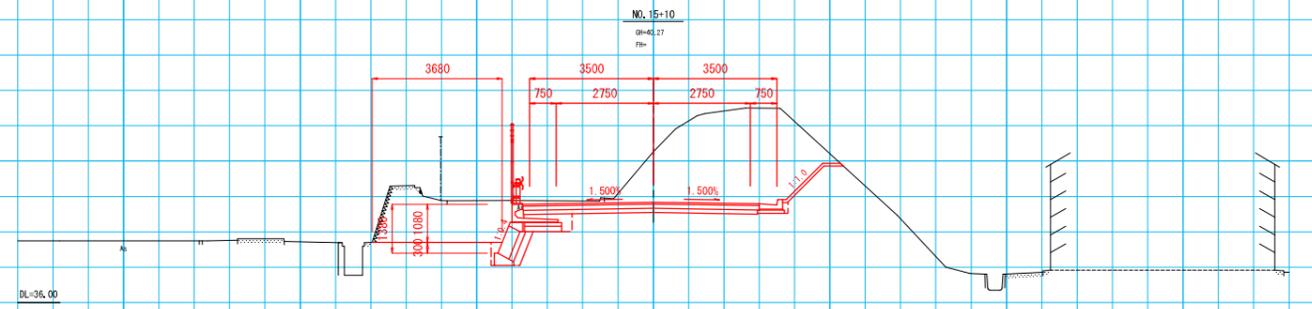
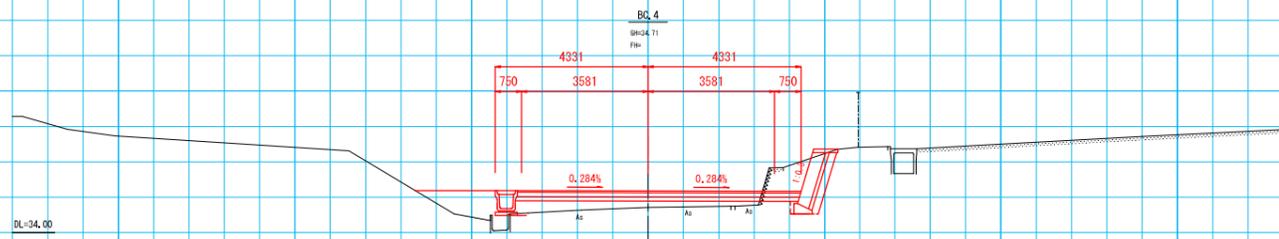
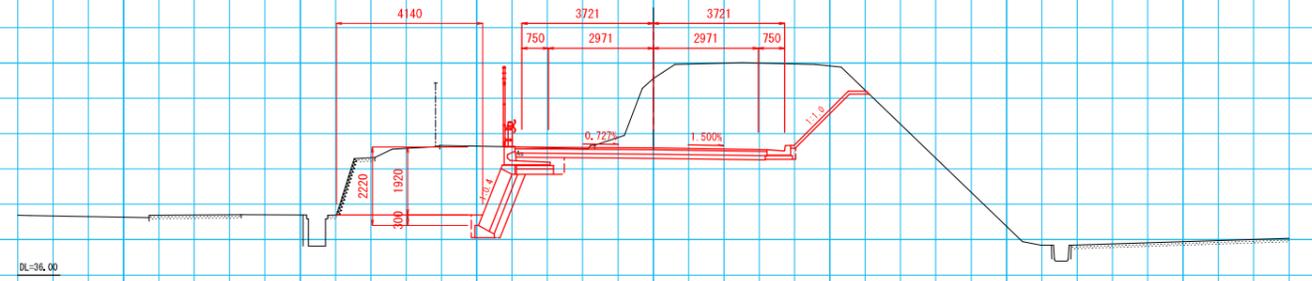
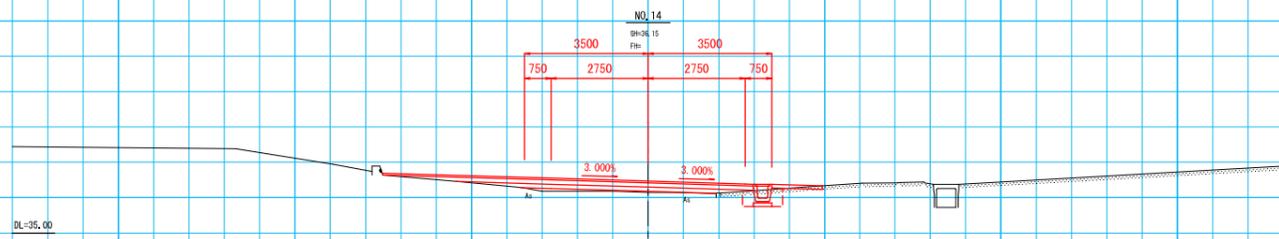
S=1:50

道路区分	第3種 第4級
設計速度	V=30km/h
舗装計画交通量	
設計CBR	



年度	平成28年度			
工事名	大浜16号線道路測量業務			
施行地	五島市浜町地内			
図面種類	標準断面図			
縮尺	S=1:50			
図面番号	号			
審査課長	係長	設計	製図	
所属	長崎県五島市			

大浜16号線道路横断図(1) S=1:100



大浜16号線道路横断図(2) S=1:100

